

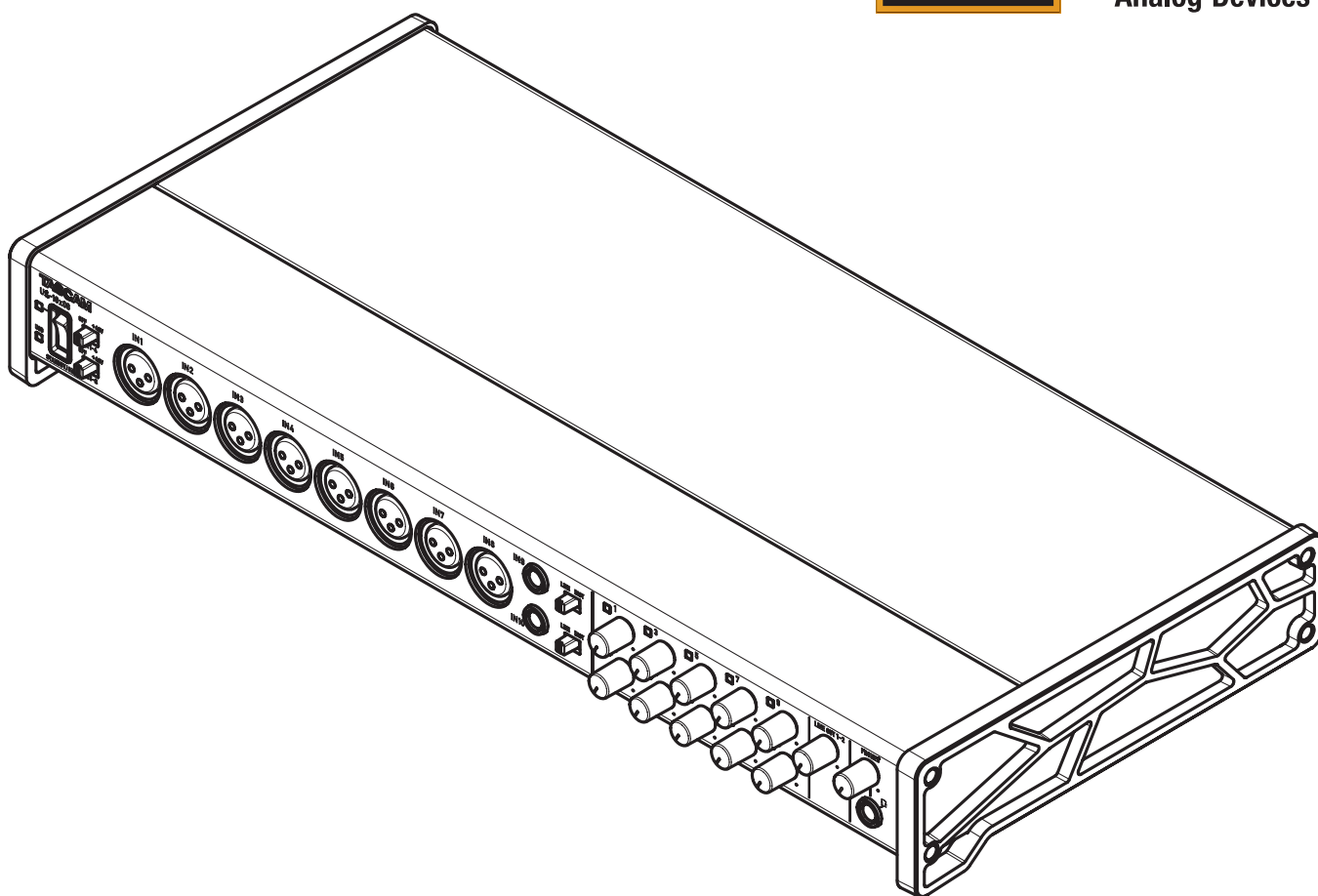
TASCAM

D01247001B

US-16x08

USB2.0 Audio Interface/Mic Preamp

リファレンスマニュアル



本機をパソコンに接続する前に、専用ドライバーをダウンロードし、パソコンにインストールしておく必要があります。

目次

第1章 はじめに.....	3	第10章 トラブルシューティング.....	26
本機の概要.....	3	第11章 仕様.....	28
本書の表記.....	3	仕様.....	28
第2章 各部の名称と働き.....	4	定格.....	28
フロントパネル.....	4	アナログオーディオ入力定格.....	28
リアパネル.....	5	アナログオーディオ出力定格.....	28
第3章 インストール.....	6	コントロール入出力定格.....	28
必要なシステム.....	6	オーディオ特性.....	29
Windows.....	6	動作条件.....	29
Mac OS X.....	6	Windows.....	29
iOSデバイス.....	6	Mac OS X.....	29
対応オーディオドライバー.....	6	iOSデバイス.....	29
ドライバーおよびSettings Panelのインストール.....	6	対応オーディオドライバー.....	29
Windows 用ドライバー /Settings Panelの		一般.....	29
インストール.....	6	寸法図.....	30
Mac OS X 用Settings Panelのインストール.....	7	ブロックダイアグラム.....	31
ドライバーおよびSettings Panelの		レベルダイアグラム.....	32
アンインストール.....	9		
Settings Panelの自動起動について.....	9		
第4章 準備.....	10		
ラックマウントアングルの取り付け.....	10		
電源を接続する.....	10		
第5章 接続.....	11		
外部機器の接続例.....	11		
パソコンの接続.....	12		
オーディオの接続.....	12		
マイク.....	12		
ギター.....	12		
電子機器／オーディオ機器など.....	12		
アナログレコードプレーヤー.....	12		
モニタースピーカー.....	12		
ヘッドホン.....	12		
MIDIの接続.....	12		
iOSデバイスとの接続.....	12		
第6章 Settings Panelの設定.....	13		
Settings Panelを開く.....	13		
Settings Panelの画面.....	13		
《MIXER》タブ画面.....	14		
《INTERFACE》タブ画面.....	17		
《OUTPUT SETTING》タブ画面.....	18		
Settings Panelのプルダウンメニュー.....	19		
《View》メニュー.....	19		
《SceneMemory》メニュー.....	20		
第7章 マイクプリモード.....	22		
マイクプリモード.....	22		
第8章 アプリケーションガイド.....	23		
DAWソフトウェア.....	23		
Windows Media Player.....	23		
Windows 8 の場合.....	23		
Windows 7 の場合.....	23		
Mac OS XとiTunes.....	24		
iOSデバイス.....	24		
第9章 MIDIインプリメンテーションチャート.....	25		

本機の概要

- EIN-125dBuを達成したディスクリート構成のUltra-HDDAマイクプリアンプを搭載
- ギターの直接入力に対応
- ドラムレコーディングの音圧を余裕で捉える入力仕様
- 8系統の+48V対応XLR入力と6系統の-10dBV/+4dBu切り換え対応TRS入力
- スタンドアロンモードで単体マイクプリアンプにも対応
- 最大24bit/96kHzフォーマットのハイレゾ録音に対応
- USB2.0によるパソコンとの接続
- 4バンドイコライザーとコンプレッサーを各チャンネルに装備した本格的なDSPミキサー
- 本体を接続せずにインストールできるドライバーソフトウェア
- デスクトップでの優れた操作性を提供するアングルドデザイン
- ハードな使用にも耐える堅牢なメタルジャケット
- ライン出力とヘッドホン出力の音量を個別にコントロール可能
- iOSデバイス接続に対応
- 主要DAWソフトウェアとの動作検証済み (SONAR、ProTools、Cubase、Live、Studio One、Garage Band)
- MIDIキーボードなどの接続ができるMIDI入出力端子
- ラックマウントアダプター、六角レンチ付属
- Windows および Mac に対応
- ダイナミックマイクの入力に対応した56dBの広さを誇る入力レベル仕様
- パワードモニターの接続に適したTRSアナログバランス出力端子
- 70mW + 70mWステレオ標準ジャックヘッドホン出力端子
- DSPミキサー経由での低レイテンシーモニタリング
- 出力先を自由にアサインできるパッチベイ
- DSPミキサーの設定を記憶できるシーンメモリー (最大10シーン、名称変更可能)
- 8系統のTRSアナログ出力端子
- ACアダプター付属

パソコン操作に関して

本書の説明に出てくるパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

本製品は アナログ・デバイス社製 Blackfin® プロセッサーを搭載しています。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機のスイッチ／端子などを「PHONESつまみ」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を《OK》のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

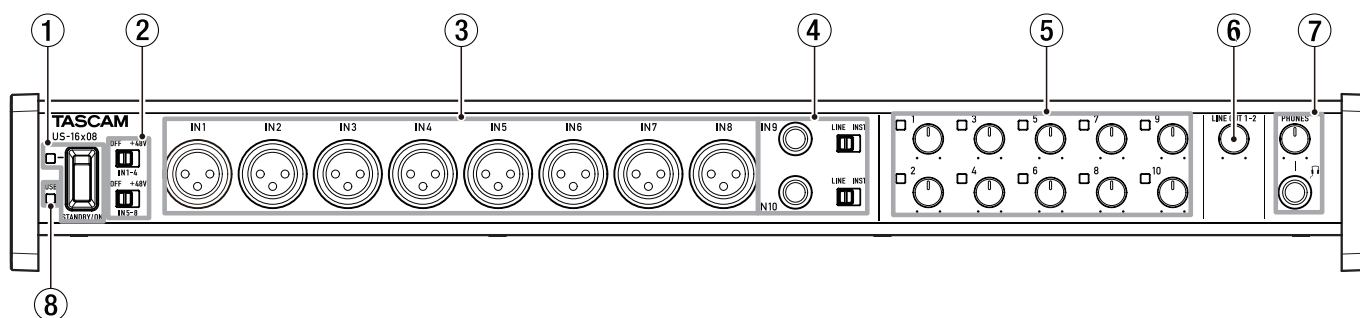
補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

第2章 各部の名称と働き

フロントパネル



① STANDBY/ONスイッチ、インジケータ

電源のオン/スタンバイ状態の切り換えを行います。オンのとき、STANDBY/ONインジケータが緑色に点灯します。

② ファントム電源スイッチ

IN1-4端子およびIN5-8端子に+48Vのファントム電源を供給するためのスイッチです。

4チャンネル毎の入力単位で切り換えることができます。スイッチが+48のときにファントム電源が供給されます。

注意

- このスイッチの+48/OFF切り換えは、機器の出力音量をPHONESおよびLINE OUT 1-2つまみで下げた状態で行ってください。大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。
- このスイッチを+48にした状態でマイクの抜き差しをしないでください。
- アンバランスタイプのダイナミックマイクにファントム電源を供給しないでください。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。

③ IN1-8 [BALANCED]端子

XLRタイプのアナログ入力端子です。ゲインつまみで入力ゲインを設定できます。

(1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)

④ IN9-10 [BALANCED/UNBALANCED]端子、LINE/INSTスイッチ

IN9-10端子は、TRS標準ジャックタイプのアナログ入力端子です。

LINE / INSTスイッチにより、ライン入力(音響機器、キーボードなど)とハイインピーダンス入力(ギターなどの直接入力)の両方に対応できます。

ゲインつまみを使って入力ゲインを設定できます。

(Tip : HOT, Ring : COLD, Sleeve : GND)

⑤ ゲインつまみ、オーバーロードインジケータ

ゲインつまみ 1-10 を使ってIN1-10 のゲインを個別に調節します。

IN1-8 のゲインは-12dBu ~ -68dBu、IN9-10 のゲインは+4dBu ~ -42dBu(ギター入力時は-12dBV ~ -57dBV)の範囲で設定することができます。

各ゲインつまみ 1-10 の左上にあるオーバーロードインジケータは、入力が歪む直前(-1dBFSを超えた場合)に点灯します。

⑥ LINE OUT 1-2つまみ

リアパネルのLINE OUT 1-2端子の出力レベルを調節します。

⑦ PHONES端子/つまみ

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。LINE OUT 1-2端子と同じ信号が出力されます。

PHONESつまみでヘッドホン出力レベルを調節します。

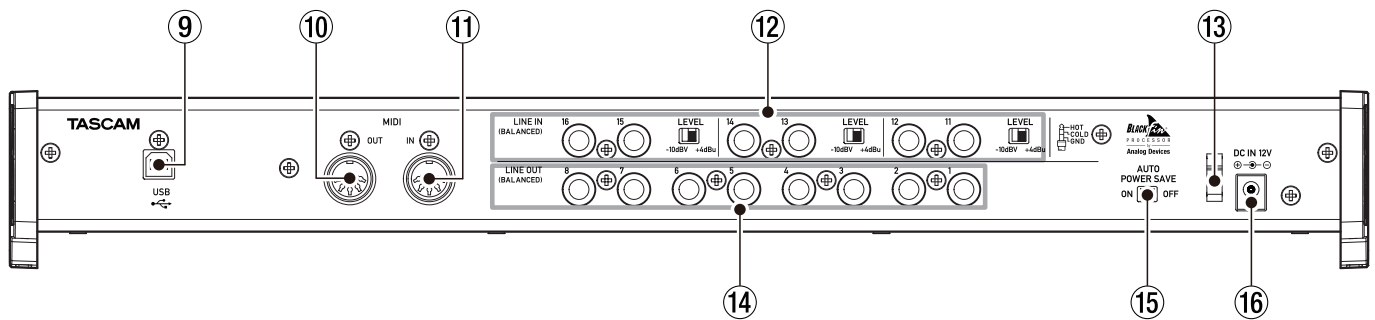
注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⑧ USBインジケータ

USB接続が有効なときに、橙色に点灯します。

リアパネル



⑨ USB端子

付属のUSBケーブルを使ってパソコンまたはiOSデバイスと接続します。(USB2.0に対応)

注意

- USB1.1には、対応していません。
- USB3.0に接続時は、USB2.0と同等なHigh Speedモード（最大480Mbps）で動作します。

⑩ MIDI OUT端子

DIN 5ピンの標準MIDI出力端子です。MIDI信号を出力します。

⑪ MIDI IN端子

DIN 5ピンの標準MIDI入力端子です。MIDI信号を入力します。

⑫ LINE IN11-16 [BALANCED]端子/LEVELスイッチ

LINE IN11-16端子は、TRS標準ジャックタイプのライン入力端子です。LEVELスイッチを使って、規定レベルを -10dBV または $+4\text{dBu}$ に設定することができます。

(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

メモ

入力ゲインの調節はできません。

⑬ コードホルダー

付属の専用ACアダプターのコードを引っ掛けてプラグの抜け落ちを防止します。

⑭ LINE OUT1-8 [BALANCED]端子

TRS標準ジャックタイプのアナログライン出力端子です。規定出力レベルは $+4\text{dBu}$ です。

(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

⑮ AUTO POWER SAVEスイッチ

マイクプリモード動作時、信号が -60dBFS 以下の状態が30分間継続した場合に、自動的に電源をオフ(スタンバイ状態)にする設定ができます。

注意

オートパワーセーブ機能により自動的に電源がオフになったときに電源を再投入したい場合は、一度STANDBY/ONスイッチをオフにした後、8秒以上経過してから、再度STANDBY/ONスイッチをオンにしてください。

⑯ DC IN 12V端子

付属の専用ACアダプター (GPE248-120200-Z)を接続します。

第3章 インストール

必要なシステム

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト(<http://tascam.jp/>)をご確認ください。

Windows

対応OS :

Windows 8 (8.1を含む)32ビット
Windows 8 (8.1を含む)64ビット
Windows 7 32ビット SP1以上
Windows 7 64ビット SP1以上

対応パソコン :

USB2.0またはUSB3.0ポートを装備した Windows 対応パソコン

CPU/クロック :

デュアルコアプロセッサ 2GHz 以上 (x86)

メモリー :

2GB以上

画面解像度 :

1280 x 800ドット以上

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

メモ

お使いのパソコンの環境によってはノイズが発生することがありますので、《コントロールパネル》の中の《電源オプション》を《高パフォーマンス》に設定して頂くことをお勧めします。

Mac OS X

対応OS :

OS X Yosemite(10.10以降)
OS X Mavericks(10.9.1以降)
OS X Mountain Lion(10.8.4以降)

対応パソコン :

USB2.0またはUSB3.0ポートを装備したApple Macシリーズ

CPU/クロック :

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上

メモリー :

2GB以上

画面解像度 :

1280 x 800ドット以上

iOSデバイス

iOS7以降のApple社製iOSデバイス

対応オーディオドライバー

Windows : ASIO2.0、WDM(MME)、MIDI
Mac : Core Audio、Core MIDI

ドライバーおよびSettings Panelのインストール

本機を使用するためには、Windows ではパソコンにドライバーおよびSettings Panelをインストールする必要があります。Macではドライバーをインストールする必要はありませんが、DSPミキサー機能を活用するためにSettings Panelのインストールが必要です。

ドライバーおよびSettings PanelはTASCAMのウェブサイト(<http://tascam.jp/>)から、ご使用のOSに適した最新のバージョンをダウンロードしてください。

- Windows パソコンは、ドライバーをインストールすると、同時にSettings Panelもインストールされます。
- Mac の場合は、Settings Panelをインストールします。ドライバーは、OS標準のドライバーを使用しますので、専用ドライバーをインストールする必要はありません。
- iOS デバイスの場合は、OS標準のドライバーを使用しますので、ドライバーおよびSettings Panelをインストールする必要はありません。

注意

インストール終了後またはアンインストール終了後にパソコンの再起動が必要になることがあります。必要に応じてデータのセーブなどを行った上で他のアプリケーションを終了させてください。

Windows 用ドライバー /Settings Panelのインストール

メモ

- パソコンと本機をUSBケーブルで接続する前に、ドライバーのインストールを完了してください。ドライバーをインストールする前に本機をUSBケーブルで接続し、パソコンに《新しいハードウェアの検出ウィザード》が起動してしまっている場合は、そのウィザードを終了させ、USBケーブルを抜いてください。

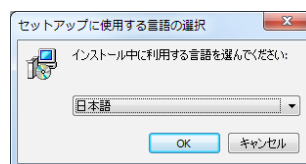
インストール手順

1. TASCAMのウェブサイト(<http://tascam.jp/>)から、ご使用のOSに適した最新のドライバーをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存したドライバー (zipファイル) をデスクトップなどに解凍してください。
3. 解凍して生成されるフォルダー内にある《US-16x08_Installer.exe》をダブルクリックすると自動的にインストールソフトウェアが起動します。

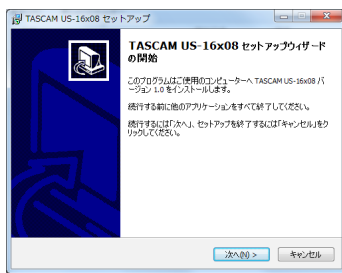
注意

zipファイルを解凍せずに、ダブルクリックして開かれたフォルダーで《US-16x08_Installer.exe》をダブルクリックした場合には、インストーラーは起動できません。zipファイルを右クリックして表示されるメニューから《すべて展開...》を選択するなどして解凍してから再度実行してください。

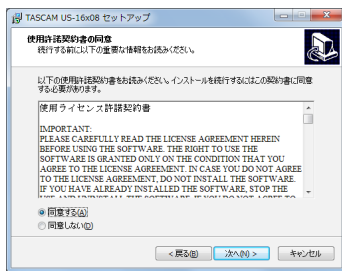
4. 《セキュリティの警告》または《ユーザーアカウント制御》の画面が表示されますので、《はい》 ボタンをクリックします。
5. 次に言語を選択し《OK》 ボタンをクリックします。



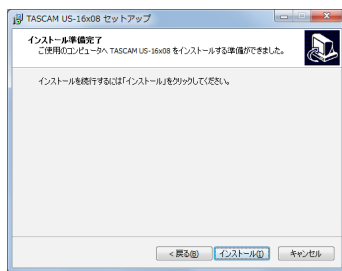
6. 《セットアップウィザード》の画面が表示されたら、《次へ(N)>》ボタンをクリックします。



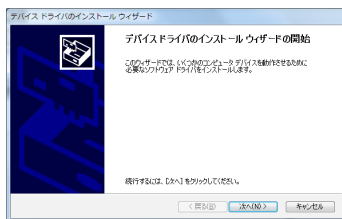
7. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、内容に同意ができたなら、《同意する(A)》を選択します。次に《次へ(N)>》ボタンをクリックします。



8. 次に《インストール(I)》ボタンをクリックします。



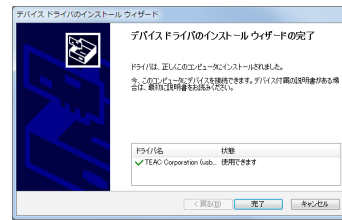
9. 《インストールウィザード》の画面が表示されたら、《次へ(N)>》ボタンをクリックします。



10. 次に《インストール(I)》ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



11. 次の画面が表示されたら、《完了》ボタンをクリックします。



12. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。《完了(F)》ボタンをクリックします。



インストーラが終了し、Settings Panelが起動します。

注意

- ドライバのインストール中に、《Windows ログテストに合格していません...》という警告メッセージが表示されることがあります。この警告メッセージが表示されたときは、《続行》をクリックしてインストールを続けてください。

Mac OS X 用Settings Panelのインストール

メモ

- パソコンにUSBケーブルで接続する前にSettings Panelをインストールしてください。ドライバーをインストールする前に本機をUSBケーブルで接続した場合は、ドライバーのインストールをキャンセルした上で、USBケーブルを抜いてください。
- Settings Panelのインストール中に、《"US-16x08.pkg"は、Mac App Storeからダウンロードされたものではないため開けません。》などの警告メッセージが表示されることがあります。これらの警告メッセージが表示されたときは、本書8ページ「Gatekeeperについて」の対処方法を行った上で、インストールを続けてください。

インストール手順

1. TASCAMのウェブサイト(<http://tascam.jp/>)から、ご使用のOSに適した最新のSettings Panelをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存したSettings Panelのディスクイメージファイル《US-16x08_X.XX.dmg》ファイルをダブルクリックし、開いたフォルダー内の《US-16x08.pkg》をダブルクリックします。



メモ

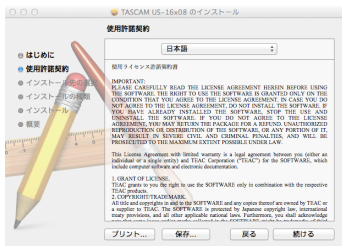
ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zipファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

第3章 インストール

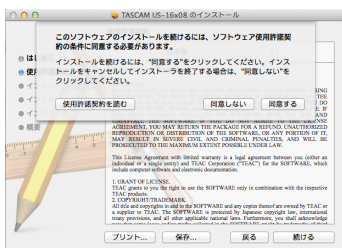
- インストーラーが起動しますので、《続ける》ボタンをクリックします。



- 次に希望の言語を選択し、《続ける》ボタンをクリックします。



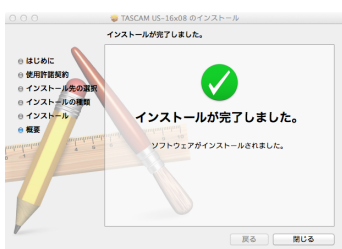
- 《使用許諾契約を読む》ボタンをクリックして、使用許諾契約の内容を確認します。内容に同意ができれば、《同意する》を選択します。次に《続ける》ボタンをクリックします。



- 次に《インストール》ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



- 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。《閉じる》ボタンをクリックします。



Settings Panelが起動します。

Gatekeeperについて

Mac OS Xをお使いの場合、セキュリティ機能のGatekeeper設定により、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。

表示された警告メッセージにより、対処方法が異なります。詳しくは、以下の対処方法をご参照ください。

- Gatekeeperの設定を《Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可》にしている場合
《“US-16x08.pkg”は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。》というセキュリティの警告画面が表示されることがあります。



その場合には《OK》ボタンをクリックして警告画面を閉じた後、ファイル上でcontrolキーを押しながらクリックする、またはファイル上で右クリックし、メニューから《開く》をクリックしてください。

《“US-16x08.pkg”は、Mac App Storeからダウンロードされたものではありません。開いてもよろしいですか?》という警告画面が表示されますので、《開く》ボタンをクリックしてください。




このとき、次のGatekeeperの設定を《Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可》以外にしている場合と同じ警告画面が表示されることがあります。

《“US-16x08.pkg”は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。》というメッセージが再度表示され、開けないことがあります。



このときは、ファイルのあるフォルダーからデスクトップなど他のフォルダーにファイルをコピーしてから実行するか、Gatekeeperの設定を《Mac App Storeと確認済みの開発元からのアプリケーションを許可》に変更してから再度実行してください。

- Gatekeeperの設定を変えるには
Gatekeeperの設定は、システム環境設定の《セキュリティとプライバシー》から《一般》タブの《ダウンロードしたアプリケーションの発行許可:》項目で変更できます。変更するには左下の《》アイコンをクリックし、パスワードを入力してロックを解除する必要があります。



Ⓜ ボタンもしくはcommand+Qなどでシステム環境設定を終了する、または《すべてを表示》をクリックしてこの画面から移動すると、再度ロックされます。

注意

Gatekeeperの設定を変えることで、セキュリティにリスクが生じる場合があります。

Gatekeeperの設定を変更してセキュリティを下げた（下にある項目に変更した）ときは、本ドライバーやファームウェアアップデートの終了後（ドライバーインストール直後にファームウェアアップデートを行う場合はファームウェアアップデート後）に設定を元に戻してください。

ドライバーおよびSettings Panelのアンインストール

メモ

通常はドライバーおよびSettings Panelのアンインストール作業は、必要ありません。問題が発生した場合や本機の使用をおやめになる場合に、以下の手順をご参照ください。

Windows

《プログラムと機能》からアンインストールします。

1. 《スタート》→《コントロールパネル》で、《プログラムと機能》を実行します。

メモ

Windows 8 では、スタート画面上で右クリックして表示されたアプリバーで、《すべてのアプリ》ボタン（Windows 8.1ではスタート画面左下のⓂ ボタン）をクリックして表示されるアプリ画面で《コントロールパネル》をクリックします。

2. 《表示方法：》項目が《カテゴリー》の場合は、《プログラム》項目の中の《プログラムのアンインストール》をクリックします。
《表示方法：》項目が《大きいアイコン (L)》または《小さいアイコン (S)》の場合は、《プログラムと機能》を実行します。
3. 一覧の中から《TASCAM US-16x08 バージョン X.XX》(“X.XX”はドライバーソフトのバージョン) を選択し、ダブルクリックします。
4. 以降は、スクリーンの指示にしたがってください。

Mac OS X

《US-16x08》をアプリケーションフォルダー内から削除すれば、アンインストールが完了です。

Settings Panelの自動起動について

Settings Panelはパソコンを立ち上げると自動的に起動します。これはSettings Panelで設定したパラメーターなどを本機に反映させるためです。Settings Panelを立ち上げずに本機を使用すると、本機の動作はSettings Panelの初期値のパラメーターで動作します。(Settings Panelの初期値についての詳細は本書19ページの「Settings Panelの設定の初期化」をご参照ください。) パソコン起動時にSettings Panelを自動起動しない設定にする場合は、以下の手順をご参照ください。

メモ

- Settings Panelの自動起動設定は、Settings Panelをインストールしたときのログインユーザーのみ有効です。
- iOSデバイスでは、Settings Panelを使用することができません。

Windows OS :

Windows 8

1. スタート画面上で右クリックして表示されたアプリバーで《すべてのアプリ》ボタンをクリック（Windows 8.1ではスタート画面左下のⓂ ボタンをクリック）して表示されるアプリ画面で、《タスクマネージャー》を選択してタスクマネージャーを表示させます。
2. 《スタートアップ》タブから《US-16x08》を右クリックし、メニューから《無効化》を選択します。

メモ

再びSettings Panelの自動起動を有効にする場合は、《US-16x08》を右クリックし、メニューから《有効化》を選択します。

Windows 7

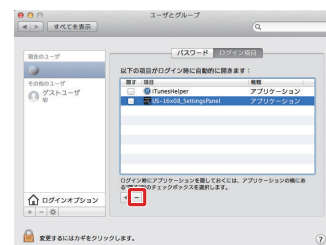
スタートボタン→《すべてのプログラム》→《スタートアップ》から《US-16x08》を右クリックし、メニューから《削除》を選択します。

メモ

再びSettings Panelの自動起動を有効にする場合は、《US-16x08》のショートカットを《スタートアップ》メニューに追加してください。

Mac OS X :

《システム環境設定》→《ユーザーとグループ》→《ログイン項目》から《US-16x08_SettingsPanel》を選択し、《-》ボタンをクリックします。



メモ

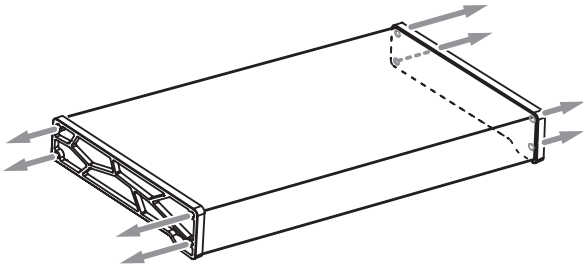
再びSettings Panelの自動起動を有効にする場合は、《+》ボタンをクリックし、《US-16x08_SettingsPanel》を選択してください。

第4章 準備

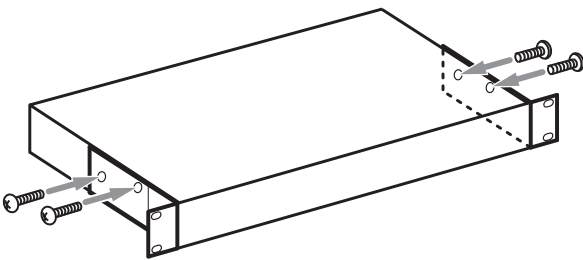
ラックマウントアングルの取り付け

本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントアングルに交換する必要があります。下記の手順で交換してください。(プラスドライバーをご準備ください。)

1. 本製品に付属の六角レンチを使って、下図の位置に付いている片側4個ずつのネジを外します。



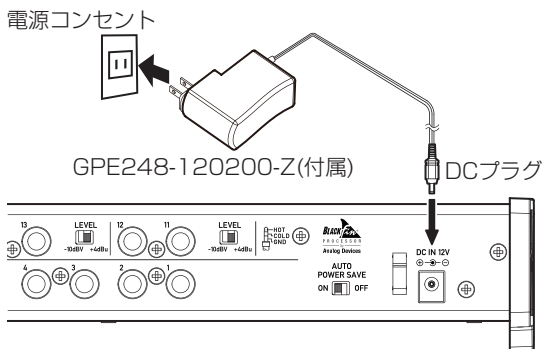
2. 本機の両サイドに付いているフレームを取り外します。
3. 付属のラックマウントアングルを、付属のラックマウントアングル取り付け用ネジとご準備いただいたプラスドライバーを使って本機に取り付けます。



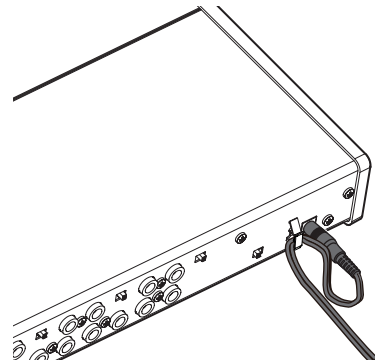
4. 最初に取り付けてあったフレームに戻したい場合は、逆の手順で交換してください。

電源を接続する

同梱されている付属の専用ACアダプターを使って、以下のように電源を本機に接続します。



使用中のコード抜けを防ぐため、接続するときはコードホルダーにコードを巻いてください。



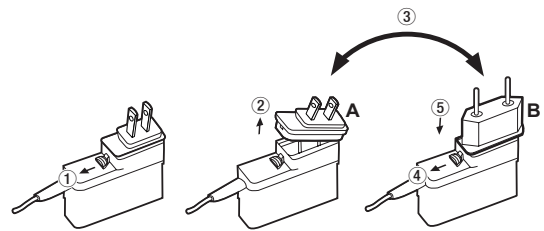
注意

必ず同梱されている専用ACアダプター(GPE248-120200-Z)をお使いください。他のACアダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。

メモ

専用ACアダプターには、2種類のコンセントプラグが同梱されています。ご使用になる電源コンセントの形状に合ったコンセントプラグに取り替えてご使用ください。

コンセントプラグの交換方法



1. ACアダプターのノブを矢印方向に移動させます。
2. コンセントプラグを引き抜きます。
3. 付属のAまたはBのコンセントプラグに交換します。
4. もう一度、ACアダプターのノブを矢印方向に移動させます。
5. ACアダプターにコンセントプラグを差し込みます。

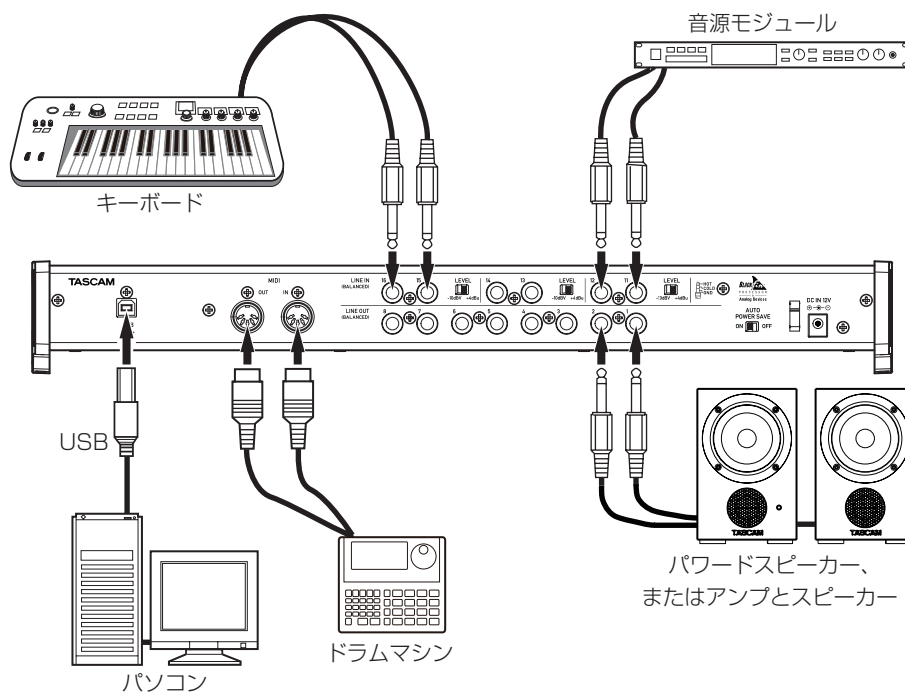
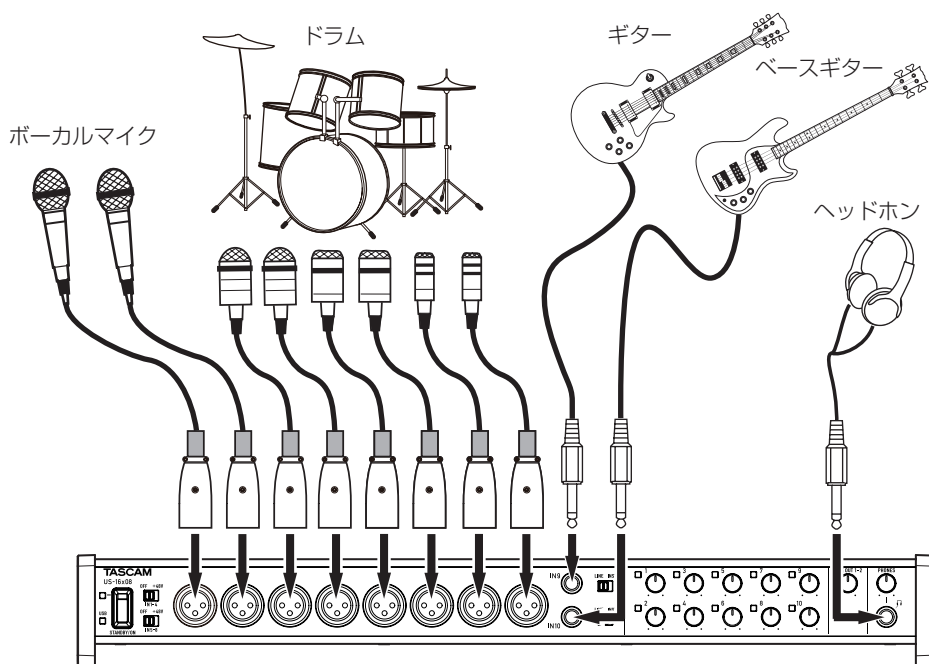
以上でコンセントプラグの交換は完了です。

交換完了後にコンセントプラグの浮きやガタがないか確認し、異常がなければ電源コンセントに接続してください。

注意

交換後のコンセントプラグに異常がある場合は、使用を中止してください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)に修理をご依頼ください。

外部機器の接続例



注意

- 接続する前に、本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にしてください。
- ファントム電源スイッチは、4チャンネル毎の入力単位で切り換えます。アンバランスタイプのダイナミックマイクを接続している場合は、ファントム電源を+48に設定しないでください。
- ファントム電源を+48にした状態で、マイクの抜き挿しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- LINE OUT 1-2つまみとPHONESつまみを下げた状態でファントム電源の+48/OFF切り換えを行ってください。大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。

パソコンの接続

付属のUSBケーブルを使って、本機とパソコンのUSB2.0/3.0ポートに接続してください。USBの接続が有効になると、フロントパネルのUSBインジケータが点灯します。

注意

- USBハブなどで本機を接続した場合、そのUSBバス上のUSB機器の影響でオーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどが発生することがあります。そのため本機の接続は、別のUSBポートに接続することを強くお勧めします。ただし、USBキーボードとUSBマウスは接続しても問題ありません。

オーディオの接続

マイク、ギター、キーボード、オーディオ機器など、本機に入力されたアナログ音声信号は、デジタル信号に変換された後にUSBを経由してパソコンに送られます。また、スピーカー（アンプ経由）やヘッドホンを本機に接続することにより、本機に入力されるオーディオ信号やパソコンからの出力信号をモニターすることができます。

注意

オーディオ機器を接続する場合には、ゲインつまみ**1-10**、**LINE OUT 1-2**つまみ、および**PHONES**つまみを下げた状態で行ってください。モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。

マイク

- ダイナミックマイク
フロントパネルの**IN1-8**端子、**IN9-10**端子に接続します。
- コンデンサーマイク
ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクをご使用になる場合は、**IN1-8**端子に接続し、ファントム電源スイッチを+48Vに設定してください。

注意

- 接続する前に、本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にしてください。
- ファントム電源を+48にした状態で、マイクの抜き挿しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- LINE OUT 1-2**つまみと**PHONES**つまみを下げた状態でファントム電源の+48/OFF切り換えを行ってください。大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。

ギター

ギターやベースギターを直接本機に接続する場合は、フロントパネルの**IN9-10**端子に接続し、その端子の**LINE/INST**スイッチを**INST**に設定します。

電子機器／オーディオ機器など

電子楽器やオーディオ機器などを接続する場合は、フロントパネルの**IN9-10**端子、**IN11-16**端子に接続し、その端子の**LINE/INST**スイッチを**LINE**に設定します。

アナログレコードプレーヤー

アナログレコードプレーヤーの出力は、直接本機に接続することができません。アナログレコードプレーヤーを本機に接続するには、アナログレコードプレーヤーと本機の間にはフォノイコライザーアンプが必要です(あるいはフォノ入力端子を持つオーディオアンプを介して接続します)。

モニタースピーカー

モニタースピーカー（パワーモニタースピーカーまたはアンプ/スピーカーシステム）は、リアパネルの**LINE OUT1-2**端子に接続します。スピーカーの音量は、フロントパネルの**LINE OUT 1-2**つまみで調節が可能です。

ヘッドホン

ヘッドホンは、フロントパネルの**PHONES**端子（ステレオ標準ジャック）に接続します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

MIDIの接続

音源モジュール、キーボード/シンセサイザー、ドラムマシンなどのMIDI機器と本機を、以下のように接続します。

- MIDI機器の音をモニターしたい場合は、これらの出力を本機の**IN 9-10**端子、**IN 11-16**端子に入力するか、外部ミキサーを使ってモニターしてください。
- リアパネルの**MIDI IN/MIDI OUT**端子を使って、MTC(MIDIタイムコード)の送受信を行うことができます。これにより、MTC対応アプリケーションソフトでMTR(マルチトラックレコーダー)とMIDI機器を同期することができます。

注意

Windows Media Player 使用時、コントロールパネル内の《サウンドとオーディオデバイス》からMIDI音楽の再生出力先(既定のデバイス)を《Microsoft GS Wavetable SW Synth》に設定した場合は、本機の**LINE OUT1-8**端子および**PHONES**端子からはMIDI演奏を聴くことができません。

iOSデバイスとの接続

Lightning - USBアダプター*が必要です。

※ Apple純正Lightning - USBアダプターを別途ご用意ください。

Settings Panelを使って、本機の各種機能の設定変更や保存を行うことができます。

Settings Panelを開く

パソコンにインストールしたSettings Panelを、パソコンのディスプレイ上に表示します。

Settings Panel を開くには、次の方法があります。

メモ

iOSデバイスでは、Settings Panelを使用することができません。

Windows OS :

- 《すべてのプログラム》または《すべてのアプリ》の中からSettings Panelを選ぶ

Windows 8

スタート画面上で右クリックして表示されたアプリバーで《すべてのアプリ》ボタンをクリック(Windows 8.1ではスタート画面左下の  ボタンをクリック)して表示されるアプリ画面での《TASCAM》の下の《US-16x08 Settings Panel》を選択して、Settings Panelを開く。

Windows 7

スタートボタン→《すべてのプログラム》→《TASCAM》から《US-16x08 Settings Panel》を選択して、Settings Panelを開く。


- Windows 8のスタート画面で《US-16x08 Settings Panel》を選択して、Settings Panelを開く

メモ

Windows 8.1では、スタート画面に自動登録されません。

- コントロールパネルからSettings Panelを開く

Windows 8

1. スタート画面上で右クリックして表示されたアプリバーで《すべてのアプリ》ボタンをクリック(Windows 8.1ではスタート画面左下の  ボタンをクリック)して表示されるアプリ画面で《コントロールパネル》を選択し、コントロールパネルを表示させる。
2. コントロールパネルがカテゴリー表示になっているときは、《表示方法:》項目を《大きいアイコン(L)》または《小さいアイコン(S)》にする。
3. 《US-16x08 Settings Panel》を選択して、Settings Panelを開く。

Windows 7

1. スタートボタン→《コントロールパネル》と選択し、コントロールパネルを表示させる。
2. コントロールパネルがカテゴリー表示になっているときは、《表示方法:》項目を《大きいアイコン(L)》または《小さいアイコン(S)》にする。
3. 《US-16x08 Settings Panel》を選択して、Settings Panelを開く。

メモ

Windows 8 では、デスクトップ画面の左下隅で右クリックして表示されるメニューから《コントロールパネル》を選択するなど、コントロールパネルを開く方法が他にもあります。

Mac OS X :

- 《Finder》→《アプリケーション》→《US-16x08_SettingsPanel》をクリックして、Settings Panelを開く。
- 《オーディオMIDI設定》の《オーディオ装置》ウィンドウで《US-16x08》を選択した状態でcontrolキーを押しながらクリック(右クリック)、または設定ボタンをクリックして表示されるメニューの中から《装置を設定...》をクリックして、Settings Panelを開く。

Settings Panelの画面

Settings Panelには、3つのタブ画面があります。

Settings Panel上部の各タブをクリックすると、選択されたタブ画面の表示になります。

MIXER : 内蔵ミキサー、内蔵エフェクターの設定を行います。

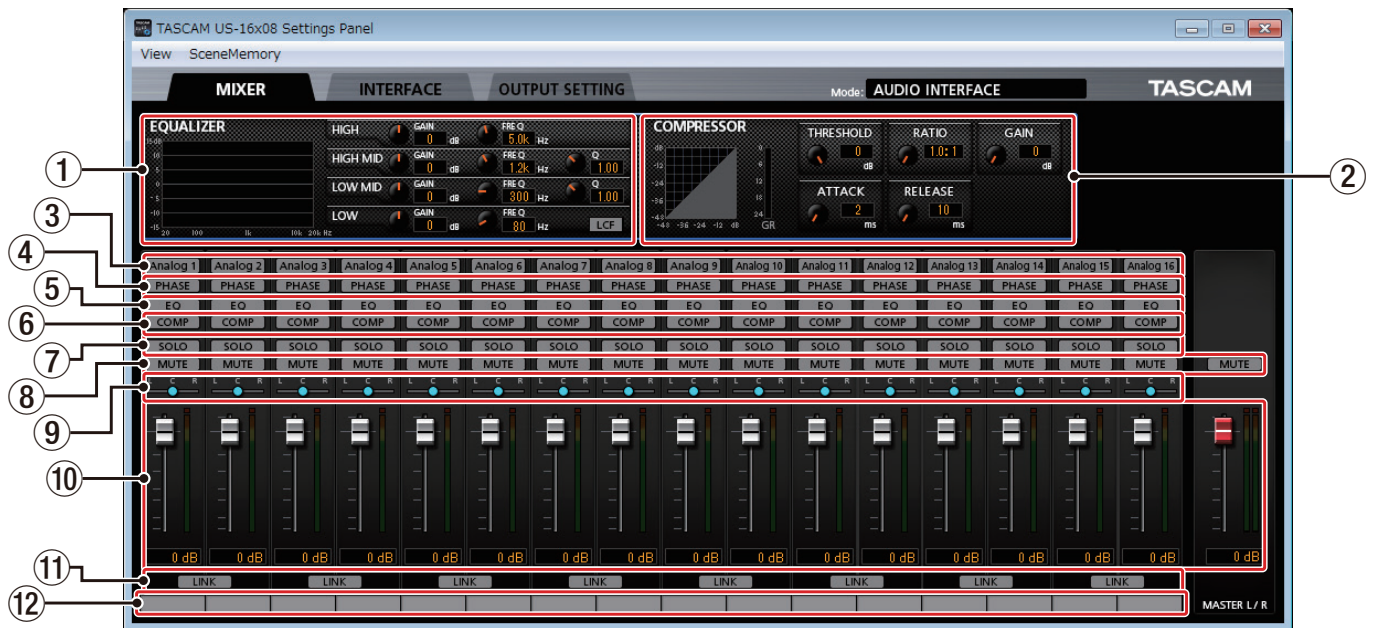
INTERFACE : ドライバーの現在のステータス(状態) / 接続情報を表示します。また各種設定を行います(Windowsのみ)。

OUTPUT SETTING : 各出力の設定を行います。

注意

- Settings Panelを開くときは最後に閉じたときの状態で開きますが、設定値データとしては保存されません。各タブ画面(MIXER / INTERFACE / OUTPUT SETTING)の設定値を保存するには、メニューバーにある《SceneMemory》メニューから保存操作を行ってください。本書19ページ「Settings Panelのプルダウンメニュー」をご参照ください。
- 各チャンネル(16チャンネル)に入力された信号は、**SOLO**、**MUTE**、**PAN**、**フェーダー**を通らずにパソコンへ送られます。そのため、Settings Panel上でフェーダーやPANを操作してもDAW上では変化しません。詳細は31ページ「ブロックダイアグラム」をご参照ください。

《MIXER》タブ画面



[Windows 版《Settings Panel》画面]

メモ

Macの場合は、画面上部のバーに《View》と《SceneMemory》が表示されます。詳細については、19ページ「Settings Panelのプルダウンメニュー」をご参照ください。

① EQUALIZER (4バンドイコライザー) 表示部

イコライザーは、特定の周波数帯域を増幅あるいは減衰させるエフェクターです。個々の楽器の色付けや、幅広い帯域のバランスの調節や余分な帯域のピンポイント・カットなどに使用します。グラフは、現在の設定での周波数特性を表示します（イコライザーがオフのときもグラフは表示されます）。

HIGHバンドはハイシェルピング（棚型）イコライザー、LOWバンドはローシェルピング（棚型）イコライザー、HIGH MID/LOW MIDバンドはピーキング（ベル型）イコライザーです。

HIGH GAINつまみ

HIGHバンドの増幅・減衰量を設定します。

設定範囲：±12dB（初期値：0dB）

HIGH FREQつまみ

HIGHバンドのカットオフ周波数を設定します。

設定範囲：1.7kHz～18.0kHz（初期値：5kHz）

HIGH MID GAINつまみ

HIGH MIDバンドの増幅・減衰量を設定します。

設定範囲：±12dB（初期値：0dB）

HIGH MID FREQつまみ

HIGH MIDバンドのセンター周波数を設定します。

設定範囲：32Hz～18.0kHz（初期値：1.2kHz）

HIGH MID Qつまみ

HIGH MIDバンドの尖鋭度（尖り具合）を設定します。値が大きいくほど尖った特性になり、狭い範囲の周波数帯域に作用します。値が小さいほどなだらかな特性になり、広い範囲の帯域に作用します。

設定範囲：0.25～16.00（初期値：1.00）

LOW MID GAINつまみ

LOW MIDバンドの増幅・減衰量を設定します。

設定範囲：±12dB（初期値：0dB）

LOW MID FREQつまみ

LOW MIDバンドのセンター周波数を設定します。

設定範囲：32Hz～18.0kHz（初期値：300Hz）

LOW MID Qつまみ

LOW MIDバンドの尖鋭度（尖り具合）を設定します。

値が大きいくほど尖った特性になり、狭い範囲の周波数帯域に作用します。値が小さいほどなだらかな特性になり、広い範囲の帯域に作用します。

設定範囲：0.25～16.00（初期値：1.00）

LOW GAINつまみ

LOWバンドの増幅・減衰量を設定します。

設定範囲：±12dB（初期値：0dB）

LOW FREQつまみ

LOWバンドのカットオフ周波数を設定します。

設定範囲：32Hz～1.6kHz（初期値：80Hz）

LCF ボタン

《LCF》ボタンをオンにすると低域の雑音などをカットするローカットフィルター機能が有効になります。

オフ（初期値）：《LCF》ボタンが消灯

オン：《LCF》ボタンが点灯

イコライザーの設定をする場合、設定したいチャンネルの《Analog X》ボタン(③)を選択します。

《Analog X》ボタン(③)で選択したチャンネルのイコライザーの設定がここに表示されます。

② COMPRESSOR (コンプレッサー) 表示部

入力音量がスレッシュホールドレベルを超えた場合に、コンプレッション（音量の変化幅を圧縮）し、音量のバラつきを抑えます。たとえば、発音時のレベルの高い部分を潰して全体のレベルをそろえ、減衰音のレベルを持ち上げることによって伸びのある音にすることができます。

コンプレッサーの入力信号レベル（《INPUT》）と出力信号レベル（《OUTPUT》）、およびゲインリダクションレベル（《GR》）の3種類のメーターで状態を表示しています。

THRESHOLDつまみ

エフェクトをかけ始めるレベル（スレッシュホールドレベル）を調節します。

設定範囲：-32dB ~ 0dB（初期値：0dB）

RATIOつまみ

入力音量の圧縮率を設定します。

右へ回すほど圧縮率が高くなり、圧縮幅が増加します。

設定範囲：1.0 : 1 ~ inf : 1（初期値：1.0 : 1）

GAINつまみ

出力音量の増幅幅を設定します。

コンプレッサーでは音量の圧縮を行うため、入力音に比べ出力音のレベルは低くなります。《GAIN》つまみで出力音を増幅させることにより、入力音に近いレベルに戻すことができます。

設定範囲：0dB ~ 20dB（初期値：0dB）

ATTACKつまみ

入力音量がスレッシュホールドレベルを超えた場合に、《RATIO》つまみで設定された圧縮率までに達するまでの時間を設定します。

設定範囲：2ms ~ 200ms（初期値：2ms）

RELEASEつまみ

入力音量がスレッシュホールドレベルより下がった後、圧縮が解除され通常のレベルに戻るまでの時間を設定します。

設定範囲：10ms ~ 1000ms（初期値：10ms）

コンプレッサーの設定をする場合、設定したいチャンネルの《Analog X》ボタン(③)を選択します。

《Analog X》ボタン(③)で選択したチャンネルのコンプレッサーの設定がここに表示されます。

メモ

- 入力がステレオ信号（ステレオリンクしているチャンネルまたはマスター）の場合は、LチャンネルまたはRチャンネルのどちらか一方でもスレッシュホールドレベルを超えると圧縮動作が始まり、LチャンネルおよびRチャンネルの両方の音が圧縮されます。
- コンプレッサーがオフのときは、コンプレッサーのカーブは表示しますが、メーターの表示はしません。

③ Analog X ボタン

《Analog X》("X"は各チャンネル番号)ボタンをオンにすると、点灯したチャンネルのイコライザーとコンプレッサーが①、②に表示され、お好みの状態に調節できます。

オフ（初期値）：《Analog X》ボタンが消灯

オン：《Analog X》ボタンが点灯

選択できるチャンネルは1つのみで、複数のチャンネルを選択することはできません。

選択中のチャンネルから別のチャンネルを選択したいときは、選択したいチャンネルのボタンを押します。今まで選択されていたチャンネルのボタンが消灯し、新しく選択されたチャンネルのボタンが点灯し、選択が切り換わります。

④ PHASEボタン

《PHASE》ボタンをオンにすると、チャンネルの位相が反転します。

⑤ EQボタン

《EQ》ボタンをオンにすると、イコライザーが有効になります。

⑥ COMPボタン

《COMP》ボタンをオンにすると、コンプレッサーが有効になります。

⑦ SOLOボタン

《SOLO》ボタンをオンにすると、ソロになります。

本機のソロは、《SOLO》ボタンを押したチャンネル以外のチャンネルが自動的にミュート(消音)されます。(インプレースソロモニター)ミュートされたチャンネルの《MUTE》ボタンは点灯します。(初期値：オフ)

また、複数のチャンネルを同時にソロにすることも可能です。

メモ

- 全ての《SOLO》ボタンがオフの状態、あるチャンネルの《SOLO》ボタンをクリックするとソロへ入り、他の全てのチャンネルが自動的にミュートされて、《MUTE》ボタンが点灯します。
- 全ての《SOLO》ボタンがオフになると、ソロにより自動的にミュートされていたチャンネルのミュートが解除され、ソロに入る前のミュート状態が復帰します。
- 《MASTER L/R》チャンネルの《MUTE》ボタンは、ソロにより自動的にオンにはなりません。

⑧ MUTEボタン

《MUTE》ボタンをオンにすると、ミュートされます。

(初期値：オフ)

メモ

ミュートは、《MUTE》ボタンでのオン/オフ時以外に、《SOLO》ボタンを使用したときにも自動的に切り換わります。

⑨ パンスライダー

各チャンネルの入力信号をステレオバスへ送る際の定位を調節します。パンスライダーのノブをマウスでクリックしたまま左右に動かし（ドラッグ）て、定位を調節します。

マウスをドラッグしている間は、調節した位置がフェーダーレベル表示部(⑩上部)に表示されます。

左端のときは《L20》、右端のときは《R20》、中央では《C》を表示します。

設定範囲：《L20》~《L1》、《C》（初期値）、《R1》~《R20》

中央《C》と左右それぞれ20ステップずつ、合計41ステップあります。

パンスライダーのノブの色は、中央《C》のとき青色、それ以外は黄色になります。

メモ

- パンスライダーのノブが中央《C》のとき、3dB下げられた信号がステレオバスのLバスとRバスの両方に送られます。
- パンスライダーをマウスでダブルクリックすると、パンスライダーが《C》の位置に戻ります。
- パンスライダーのノブが左端のときは《L20》、そのチャンネルの信号はステレオバスのLバスのみを送られ、Rバスには送られません。
- パンスライダーのノブが右端のときは《R20》、そのチャンネルの信号はステレオバスのRバスのみを送られ、Lバスには送られません。

第6章 Settings Panelの設定

⑩ フェーダー、レベルメーター

チャンネル毎にあるチャンネルフェーダーで各チャンネルの信号をステレオバスへ送るレベルを調節し、マスターフェーダーでマスターレベルを調節します。

各チャンネルの信号のレベルは各チャンネルレベルメーターに、ミックスした信号のレベルはマスターレベルメーターに表示します。

フェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示部 (⑩下部) に表示されます。

チャンネルレベルメーター、マスターレベルメーターは、-12dB以下は緑色、-12dB ~ -6dBは黄色、-6dB以上は赤色のバーで表示します。

レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケーターです。

設定範囲：+6dB ~ Infinity (初期値：0dB)

メモ

- フェーダーをマウスでドラッグすると、レベルが調節できます。上側に動かすとレベルが上がり、下側に動かすとレベルが下がります。
- フェーダーをマウスでダブルクリックすると、フェーダーが初期値(0dB)に戻ります。
- 各チャンネルのメーターはプリフェーダー (フェーダーに入る前) です。フェーダーで調節する、またはミュートをかけてもレベルメーターには反映されません。

⑪ LINKボタン

《LINK》ボタンをオンにすると、奇数チャンネルと偶数チャンネルが1つのステレオチャンネルに統合されます。

ステレオリンクモードの表示に変わり、各チャンネルの各ボタンおよび各つまみ類が統合されます。また、チャンネルレベルメーターがステレオ表示になります。

このとき、《LINK》ボタンは点灯します。(初期値：オフ)

- 《LINK》ボタンをオン(ステレオチャンネル統合時)にしたときの各設定は下記の設定になります。

《Analog X》 : 奇数チャンネルまたは偶数チャンネルのどちらかがオンのときはオンに、奇数チャンネルと偶数チャンネルがともにオフのときはオフになります。また、名前が "Analog X-Y" ("X" は奇数チャンネル番号、"Y" は偶数チャンネル番号) に変更されます。

《PHASE》 : 設定は統合されず、各チャンネルの設定がそのまま保持されます。

《EQ》 : 奇数チャンネルの設定

《COMP》 : 奇数チャンネルの設定

《SOLO》 : 奇数チャンネルの設定

《MUTE》 : 奇数チャンネルの設定

パンスライダー : 設定は統合されず、奇数チャンネルと偶数チャンネルは、それぞれ独立して設定ができます。

レベル (フェーダー) : 奇数チャンネルの設定

- 《LINK》ボタンをオフにすると、1つのステレオチャンネルは2つのモノラルチャンネルに分かれます。また、それぞれのモノラルチャンネルの設定は下記の設定になります。

《Analog X-Y》 : 《LINK》ボタンをオフにする直前の設定がオンであった場合、奇数チャンネルはオン、偶数チャンネルはオフになります。また、《LINK》ボタンをオフにする直前の設定がオフであった場合、奇数チャンネルと偶数チャンネルはともにオフになります。

《PHASE》 : 設定は変わらず、各チャンネルの設定がそのまま保持されます。

《EQ》 : 奇数チャンネルと偶数チャンネルともにステレオチャンネルのときの設定値と同じ値に設定されます。

《COMP》 : 奇数チャンネルと偶数チャンネルともにステレオチャンネルのときの設定値と同じ値に設定されます。

《SOLO》 : 《LINK》ボタンをオフにする直前の設定がオンであった場合、奇数チャンネルと偶数チャンネルはともにオンになります。また、《LINK》ボタンをオフにする直前の設定がオフであった場合、奇数チャンネルと偶数チャンネルはともにオフになります。

《MUTE》 : 《LINK》ボタンをオフにする直前の設定がオンであった場合、奇数チャンネルと偶数チャンネルはともにオンになります。また、《LINK》ボタンをオフにする直前の設定がオフであった場合、奇数チャンネルと偶数チャンネルはともにオフになります。

パンスライダー : 《LINK》ボタンをオフにしても、そのまま動作します。

レベル (フェーダー) : 奇数チャンネルと偶数チャンネルともにステレオチャンネルのときの設定値と同じ値に設定されます。

⑫ トラックメモ

最大6文字までの英数文字が入力できます。

文字入力の方法

マウスでこの場所をクリックすると、カーソルが点滅して入力待ち状態になります。

その状態でパソコンのキーボードから文字を入力します。

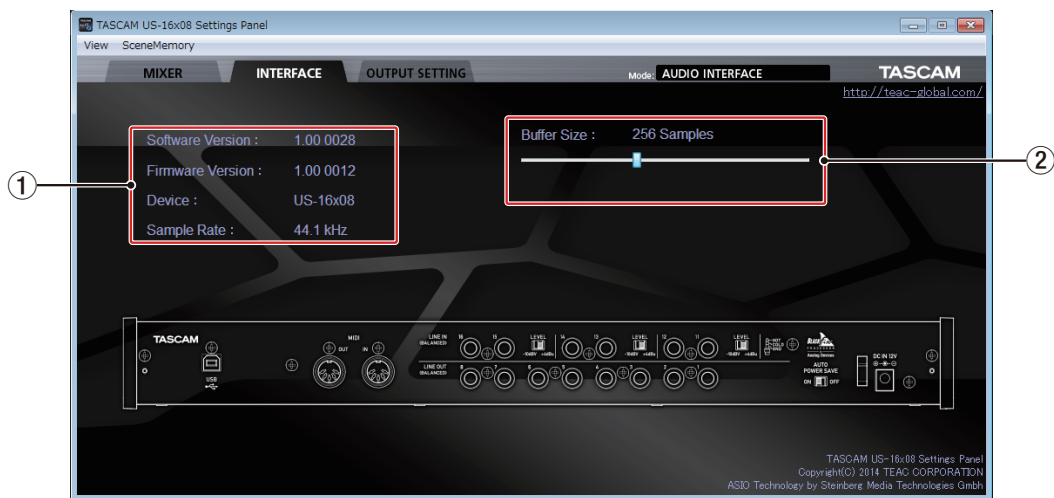
入力を終えたらパソコンのEnterキーを押して確定します。

メモ

文字を入力した後は、入力を確定するために必ずパソコンのEnterキーを押してください。Enterキーを押さないとMIXERタブ画面から他のタブ画面に移動すると、入力した文字は表示されますが保存はされません。

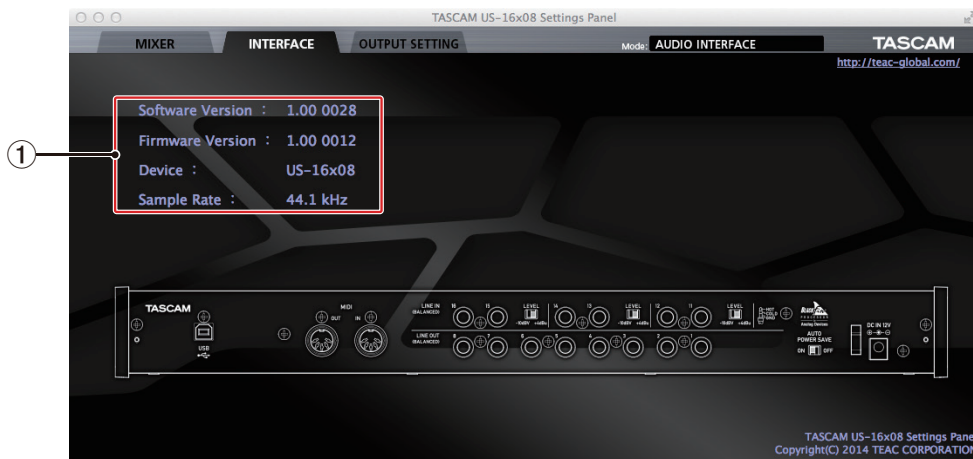
《INTERFACE》タブ画面

Windows の場合



[Windows 版《Settings Panel》画面]

Mac OS Xの場合



[Mac 版《Settings Panel》画面]

《INTERFACE》タブ画面は、ステータス（状態）表示部と《Buffer Size》表示部(Windows のみ)を表示します。表示部の下には、背面の端子レイアウトなどが確認できるようにリアパネル画像を表示しています。（設定変更などはできません。）

① ステータス（状態）表示部

現在のステータス(状態)を表示しています。

表示項目	表示内容
《Software Version》	ソフトウェアのバージョン
《Firmware Version》	本機のファームウェアバージョン ※1
《Device》	本機の装置名 ※1
《Sample Rate》	現在のサンプリング周波数 ※2

※ 1. 未接続時は《No Device》と表示されます。

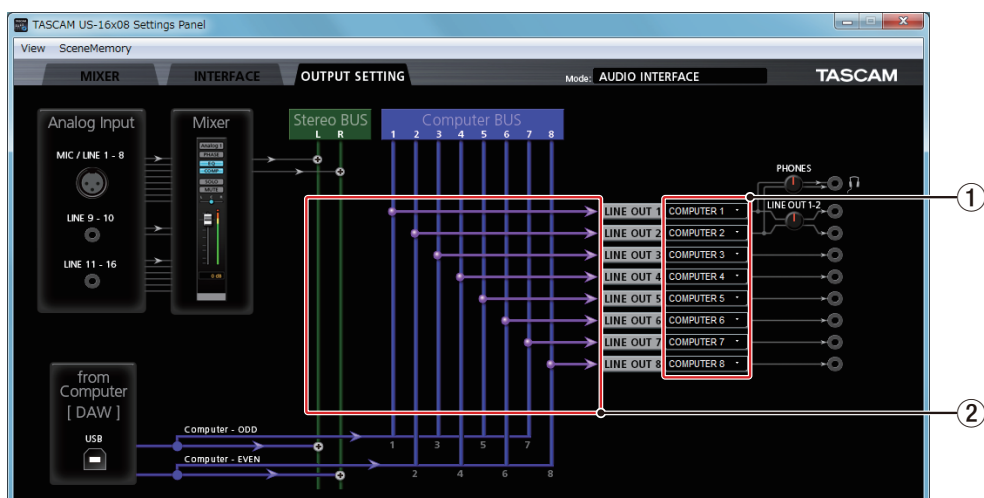
※ 2. ASIOドライバーがインストールされていないときは《No ASIO Driver》と表示されます。

② Buffer Size 項目 (Windows のみ)

本機のドライバーは、パソコンとやりとりするオーディオ信号を一時的にバッファに蓄えています。このバッファサイズは調節が可能です。

バッファサイズが小さいほど、オーディオ信号の遅れが少なくなりますが、パソコンの高速処理が要求されます。他のシステム操作を行った場合などに処理が間に合わないと、オーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなどが発生する場合があります。バッファサイズを大きくするほど動作がより安定し、オーディオ信号への悪影響に対して強くなりますが、パソコンとやりとりするオーディオ信号の遅れが大きくなります。本機ではユーザー環境に合わせて、パネル上のスライダーでバッファサイズを調節することができます。スライダーは、左から右に[64 / 128 / 256 / 512 / 1024 / 2048 samples]の固定サイズで設定可能です。

《OUTPUT SETTING》タブ画面



[Windows 版 《Settings Panel》 画面]

《OUTPUT SETTING》タブ画面では、《LINE OUT 1-8》出力端子に出力する信号ラインを、視覚的にルーティングを確認しながら選択します。

① 出力信号選択部

《LINE OUT X》(“X”は1～8)の右側部分のこの部分をマウスでクリックすると、BUSラインの選択肢がプルダウンメニューで表示されます。その中から、出力したい信号を選択します。

選択肢：COMPUTER 1～COMPUTER 8、
MASTER L / MASTER R

② 接続状態表示部

出力信号選択部①で選択された信号と現在設定したい出力端子との間の接続状態を表示します。

《Stereo BUS》を出力

全ての入力端子に入力された入力信号、およびUSB経由で入力されたパソコンからの出力信号をミックスし、ステレオで出力します。

詳細は、本書31ページの「ブロックダイアグラム」をご参照ください。

《Computer BUS》を出力

パソコン上で動いているDAWソフトウェアからのComputer BUS上での出力信号(1～8)を選択し、出力したい端子に直接出力します。

メモ

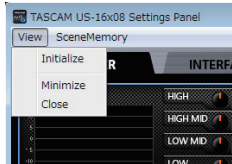
《LINE OUT 1》と《LINE OUT 2》で選択した出力信号は、《PHONES》(L/R)にも同じ信号が出力されます。

Settings Panelのプルダウンメニュー

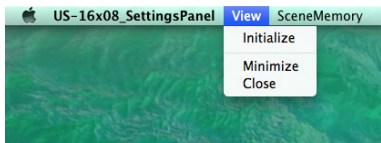
Settings Panelには、《View》メニューと《SceneMemory》メニューのプルダウンメニューがあり、設定の初期化や保存などができます。

《View》メニュー

Settings Panelの設定の初期化(《Initialize》)、タスクバーに入れる最小化(《Minimize》)、Settings Panelの終了(《Close》)を行う機能メニューがあります。



[Windows 版]



[Mac 版]

Initialize

Settings Panel内の全ての設定項目を初期化します。
詳細は本書19ページの「Settings Panelの設定の初期化」をご参照ください。

Minimize

Settings Panelをタスクバーに入れて、最小化します。

Close

Settings Panelを閉じて、終了します。

Settings Panelの設定の初期化

Settings Panel内の全ての設定項目を初期化します。

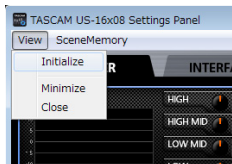
メモ

Windows のBuffer Sizeは初期化されません。

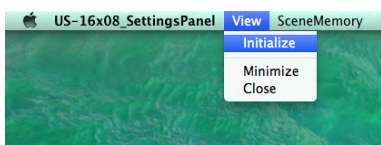
注意

初期化を行うと、以前の設定に戻すことはできません。

1. メニューバーの《View》メニュー (Windows /Mac) から《Initialize》項目をクリックします。

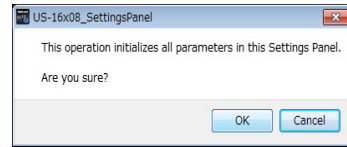


[Windows 版]

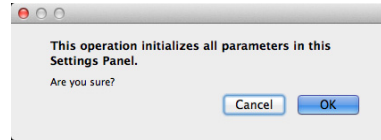


[Mac 版]

2. 確認メッセージが表示されます。メッセージ内の《OK》ボタンをクリックして、Settings Panelの設定を初期値に戻します。



[Windows 版]



[Mac 版]

メモ

《Cancel》ボタンをクリックすると初期化せずに、Settings Panelに戻ります。

初期化《Initialize》を行うと下記の設定値に設定されます。

タブ	項目	初期値	
MIXER	EQUALIZER	HIGH(GAIN)	0dB
		HIGH(FRE Q)	5.0kHz
		HIGH MID(GAIN)	0dB
		HIGH MID(FRE Q)	1.2kHz
		HIGH MID(Q)	1.00
		LOW MID(GAIN)	0dB
		LOW MID(FRE Q)	300Hz
		LOW MID(Q)	1.00
		LOW(GAIN)	0dB
		LOW(FRE Q)	80Hz
	COMPRESSOR	THRESHOLD	0dB
		RATIO	1.0 : 1
		GAIN	0dB
		ATTACK	2ms
PAN	RELEASE	10ms	
	チャンネルフェーダー	C(中央)	
	マスターフェーダー	0dB	
OUTPUT SETTING	LINE OUT 1	COMPUTER 1	
	LINE OUT 2	COMPUTER 2	
	LINE OUT 3	COMPUTER 3	
	LINE OUT 4	COMPUTER 4	
	LINE OUT 5	COMPUTER 5	
	LINE OUT 6	COMPUTER 6	
	LINE OUT 7	COMPUTER 7	
	LINE OUT 8	COMPUTER 8	

メモ

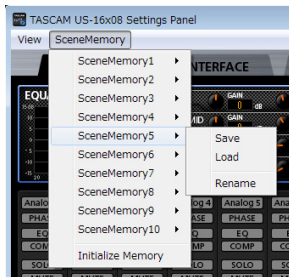
- Settings Panelを立ち上げない状態で本体を立ち上げたとき、OUTPUT SETTINGのLINE OUT 1～8の設定は、COMPUTER 1～8が出力される設定になります。
- iOSデバイス用のSettings Panelはありませんので、本体の動作は初期値の状態で作動します。

第6章 Settings Panelの設定

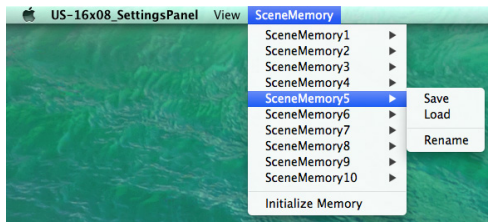
《SceneMemory》メニュー

Settings Panelの設定を最大10個まで保存することができます。《SceneMemoryX》("X"は1～10)があらかじめ《SceneMemory》メニューの中に設けられています。設定は《SceneMemoryX》の10個の中から選択して保存(《Save》)でき、保存したSceneMemoryの読み込み(《Load》)や名前の変更(《Rename》)ができます。

また、10個のSceneMemoryは一度に全てを初期化することも可能です。



[Windows 版]



[Mac 版]

Save

Settings Panel内で、《Analog X》ボタンのオン/オフ設定以外の全ての設定項目を保存できます。詳細は本書20ページ「Settings Panelの設定の保存」をご参照ください。

Load

現在の設定を保存(《Save》)した《SceneMemoryX》の設定値に瞬時に切り換えることができます。詳細は本書20ページの「Settings Panelの設定の読み込み」をご参照ください。

Rename

保存(《Save》)する《SceneMemoryX》の名前を任意の名前に変更することができます。詳細は本書21ページ「Settings Panelの設定名の変更」をご参照ください。

Settings Panelの設定の保存

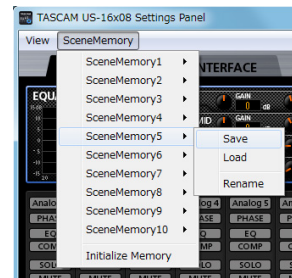
現在のSettings Panelの設定内容を《SceneMemoryX》に保存します。

《SceneMemoryX》は、1～10の10個を保存できます。

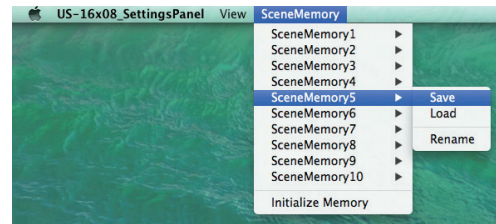
注意

それぞれの《SceneMemoryX》には、Settings Panelの設定内容を1つしか保存できません。保存した《SceneMemoryX》に再度保存操作を行うと、それまでに入っていた設定は消去されます。

1. メニューバーの《SceneMemory》メニュー (Windows / Mac) から保存したい《SceneMemoryX》をクリックすると、サブメニューが表示されます。
2. サブメニューから《Save》を選択しクリックすると、現在のSettings Panelの設定内容が指定した《SceneMemoryX》に保存されます。



[Windows 版]



[Mac 版]

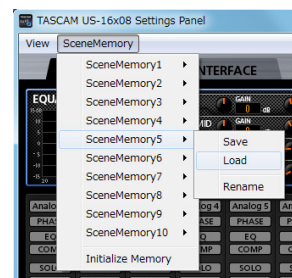
Settings Panelの設定の読み込み

現在のSettings Panelの設定内容を、《SceneMemoryX》に保存してあるSettings Panelの設定内容に変更したいときは、変更したい《SceneMemoryX》の設定内容を読み込むことで瞬時に設定が変更されます。

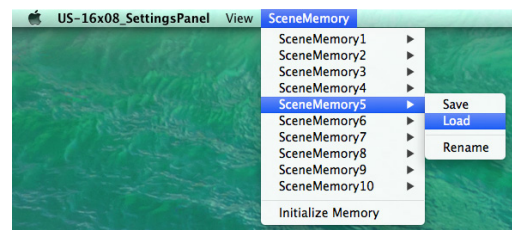
注意

《SceneMemoryX》を読み込むと、それまで設定されていた状態に戻すことはできません。現在の設定を残しておきたい場合は、他の《SceneMemoryX》に保存してください。

1. メニューバーの《SceneMemory》メニューから読み込みたい《SceneMemoryX》をクリックすると、サブメニューが表示されます。
2. サブメニューから《Load》を選択しクリックすると、現在のSettings Panelの設定が指定した《SceneMemoryX》の設定に瞬時に変更されます。



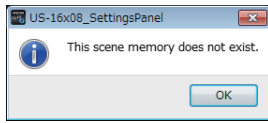
[Windows 版]



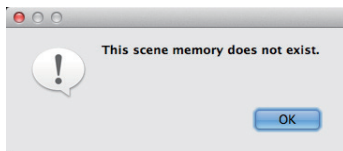
[Mac 版]

注意

一度も保存操作をしていない《SceneMemoryX》には、Settings Panelの設定内容は入っていません。読み込み操作を行うと、下記の確認メッセージが表示されます。



[Windows 版]

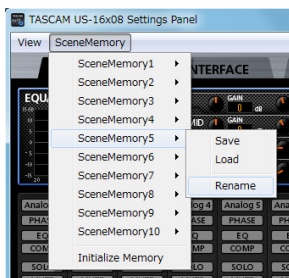


[Mac 版]

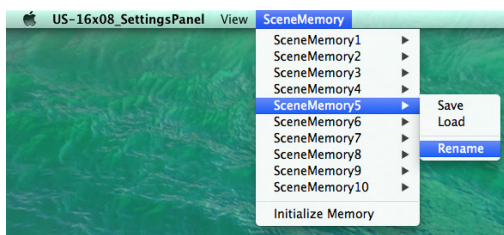
Settings Panelの設定名の変更

《SceneMemoryX》の名前を変更することができます。

1. メニューバーの《SceneMemory》メニュー（Windows / Mac）から名前を変更したい《SceneMemoryX》をクリックすると、サブメニューが表示されます。
2. そのサブメニューから《Rename》を選択します。



[Windows 版]

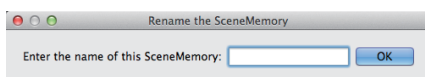


[Mac 版]

3. 下記の名前入力待ち状態になります。



[Windows 版]



[Mac 版]

4. 変更したい名前を入力し終わったら、メッセージ内の《OK》ボタンをクリックし、終了します。

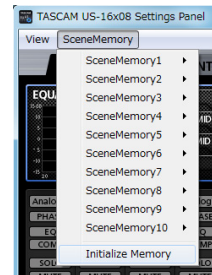
SceneMemory1 ~ 10の全初期化

《SceneMemoryX》の全てを一度に初期化することができます。

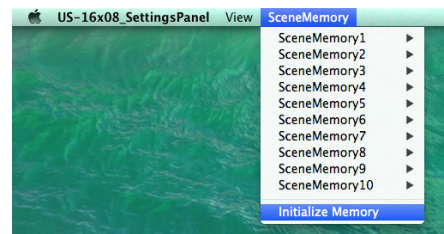
注意

初期化を行うと、以前の設定に戻すことはできません。

1. メニューバーの《SceneMemory》メニュー（Windows / Mac）から《Initialize Memory》項目をクリックします。

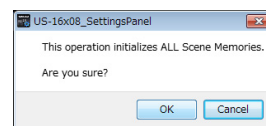


[Windows 版]

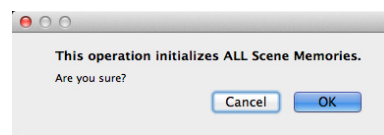


[Mac 版]

2. 確認メッセージが表示されます。メッセージ内の《OK》ボタンをクリックして、Settings Panelの設定を初期値に戻します。



[Windows 版]



[Mac 版]

メモ

《Cancel》ボタンをクリックすると初期化せずに、Settings Panelに戻ります。

第7章 マイクプリモード

マイクプリモード

本機がUSBケーブルでパソコンとつながっていないとき、本機はマイクプリモードと呼ばれるモードで動作します。

パソコンなどを使わずに、本機をマイクプリアンプとして動作させることができます。

マイクプリモード時の入力/出力チャンネル

マイクプリモードでは、入力チャンネルに対応して出力チャンネルが下記のように固定されます。

[入力]	[出力]
IN1	LINE OUT1
IN2	LINE OUT2
IN3	LINE OUT3
IN4	LINE OUT4
IN5	LINE OUT5
IN6	LINE OUT6
IN7	LINE OUT7
IN8	LINE OUT8

各チャンネルの入力レベルは、各チャンネルのゲインつまみを使って調節できます。

メモ

工場出荷時は**LINE OUT 1-2**つまみが最小に設定されているため、**LINE OUT 1-2端子**から信号が出力されません。マイクプリモードで使用する場合は**LINE OUT 1-2**つまみを最大に設定してください。

ここでは、いくつかのオーディオアプリケーションと組み合わせて使用する場合の各設定方法を紹介いたします。

DAWソフトウェア


DAWソフトウェアは、そのDAWによって設定方法が異なります。DAWソフトウェアをご使用の場合は、DAWソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

Windows Media Player

Windows 8 の場合

1. 全てのアプリケーションを終了し、スタート画面上で右クリックして表示されるアプリバーの《すべてのアプリ》ボタンをクリックしアプリ画面を表示します。

メモ

Windows 8.1では、スタート画面左下にある  ボタンをクリックしてアプリ画面を表示します。

2. 《コントロールパネル》をクリックします。
3. 《ハードウェアとサウンド》をクリックして開いた後、《サウンド》画面を開きます。
4. 《再生》タブ画面の《ライン US-16x08》を右クリックし、表示されたポップアップメニュー内の《既定のデバイスとして設定》をクリックします。
このとき、緑のチェックマーク (✓) が《ライン US-16x08》に移動します。



メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、《録音》タブ画面の《ライン入力 TASCAM US-16x08》を《既定のデバイスとして設定》に設定します。

5. 設定が終了したら、《OK》をクリックします。
6. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

メモ

- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行っても音が出ない場合は、USBケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- この設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子からは音は出なくなります。

Windows 7 の場合

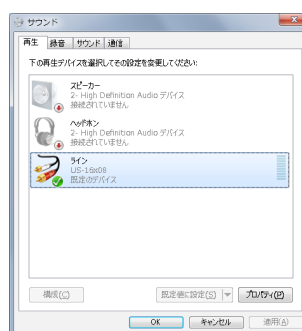
1. 全てのアプリケーションを終了し、スタートボタンより《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンド》画面を開きます。

メモ

上記項目が見あたらない場合は、《ハードウェアとサウンド》をクリックした後に表示されます。



3. 《再生》タブ画面の《ライン US-16x08》を右クリックし、表示されたポップアップメニュー内の《既定のデバイスとして設定》をクリックします。
このとき、緑のチェックマーク (✓) が《ライン US-16x08》に移動します。



メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、《録音》タブ画面の《ライン入力 TASCAM US-16x08》を《既定のデバイスとして設定》に設定します。

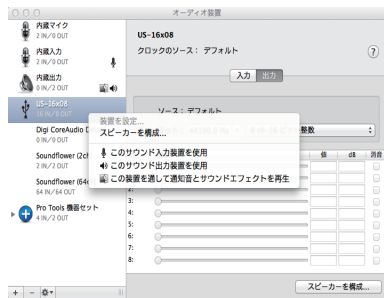
4. 設定が終了したら、《OK》ボタンをクリックします。
5. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルの再生を行ってください。

メモ

- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行っても音が出ない場合は、USBケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- この設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子からは音は出なくなります。

Mac OS XとiTunes

1. 《アプリケーション》フォルダー内の《ユーティリティ》フォルダー内にある《オーディオMIDI設定》をダブルクリックし、《オーディオ装置》画面を開きます。
2. 《US-16x08》をクリックして選択し、右クリックまたはcontrolキーを押しながら《US-16x08》をクリックして表示されるポップアップメニュー内の《このサウンド出力装置を使用》をクリックします。
スピーカーのマークが《US-16x08》に移動します。



メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、《US-16x08》を《このサウンド入力装置を使用》に設定します。

3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

iOSデバイス

iOSデバイスは特に設定をする必要はありません。USB接続をした後は、すぐに使用できます。

メモ

iOSデバイスのヘッドホン端子にヘッドホンなどを接続した場合は、本機とのUSB通信が切断されます。

第9章 MIDIインプリメンテーションチャート

MIDIインプリメンテーションチャート

機能		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	電源オン時	×	×	スルー
	設定可能	×	×	
モード	電源オン時	×	×	スルー
	メッセージ	×	×	
	代用		
ノート・ナンバー	音域	×	×	スルー
ベロシティ	ノート・オン	×	×	スルー
	ノート・オフ	×	×	
アフター・タッチ	キー別	×	×	スルー
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベント		×	×	スルー
コントロール・チェンジ		×	×	スルー
プログラム・チェンジ		×	×	スルー
	設定可能範囲 #		
システム・エクスクルーシブ		×	×	スルー
システム・コモン	ソング・ポジション	×	×	スルー
	ソング・セレクト	×	×	
	チューン	×	×	
システム・リアルタイム	クロック	×	×	スルー
	コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン/オフ	×	×	スルー
	オール・ノート・オフ	×	×	
	アクティブ・センス	×	×	
	リセット	×	×	
備考				

モード1 : オムニ・オン、ポリ
 モード3 : オムニ・オフ、ポリ

モード2 : オムニ・オン、モノ
 モード4 : オムニ・オフ、モノ

○ : YES
 × : NO

第10章 トラブルシューティング

本取扱説明書の手順通り設定しても、本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。

本章で解決できない場合は、タスカムカスタマーサポート（巻末に記載）まで、下記のご使用環境と、詳しい状況をお知らせいただきますようお願い致します。

ご使用環境

- パソコンメーカー
- モデル
- CPU
- 搭載メモリー
- OS
- 使用アプリケーション
- ウィルス対策ソフト
- 無線LANの有無

お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

インストールできない / インストールしたがパソコンに認識されない

↓
何らかの問題が発生し、インストールに失敗する、またはインストールが完了してもパソコンに認識されない場合は、下記をご確認ください。

1. USBポートの差し替え

USBポートによっては本機が正常に動作しない場合がありますので、パソコン本体の別のUSBポートに接続して、再度インストールをお試しください。

メモ

- その他のUSB機器は、接続せずにお試しください(USBキーボード・USBマウスは、接続しても構いません)。
- USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の(オンボードの)USBポートに接続してください。

2. 常駐ソフトの停止

アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがインストールの妨げとなる場合がありますので、インストール前に終了してください。ドライバーおよびSettings Panelのアンインストール/インストール方法は、本書6 ページの「ドライバーおよびSettings Panelをインストールする」をご参照ください。

オーディオを再生しても音が出ない

↓
パソコン側で音声出力の設定が必要です。本機をパソコンに接続した状態で下記をご確認ください。なお、以下の設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から音は出なくなります。

Windows 8 / Windows 7

- 本書23 ページの「第8章 アプリケーションガイド」の「Windows Media Player」の「Windows 8 の場合」または「Windows 7 の場合」を参照して各OSに合わせた設定を行ってください。
- Windows 8 は「Windows 8 の場合」の手順1. ~ 4.を、Windows 7 は「Windows 7 の場合」の手順1. ~ 3.を行って再生時の既定デバイスに設定してください。

Mac OS X

1. 全てのアプリケーションを終了し、アップルメニューより《システム環境設定...》画面を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。
3. 《出力》タブから《US-16x08》を選択します。

設定が完了しましたらパソコンを再起動し、再生音をご確認ください。

また、お使いのアプリケーションによっては、上記とは別にデバイス設定を行う必要がある場合があります。

特にDAWソフトウェアをご使用時には、上記OSの設定とは別のオーディオエンジンで動作していますので、本機のドライバーおよびSettings Panelをインストール後、先にDAWソフトウェアの設定をご確認ください。

お使いのアプリケーションの詳しい設定方法については、各取扱説明書をご参照ください。

音切れやノイズが発生する

↓
パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生します。パソコンの負荷を軽減させる方法を下記にご紹介致します。

1. 無線LANやアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトが動作している場合は、定期的に負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。無線LANの通信を停止、アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止してご使用ください。
2. お使いのオーディオアプリケーション、あるいは本機のSettings Panelにてバッファサイズ(レイテンシー)の設定を大きくしてください。(Windows のみ)

メモ

オーディオアプリケーション側でパソコンへの負荷を減らす方法を、オーディオアプリケーションのメーカー様にお問い合わせください。

3. パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

[Windows 8 の場合]

- ① Windows 8 の通常のスタート画面(メトロUI画面)で右クリックし、《すべてのアプリ》をクリックします。
- ② 《コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
- ③ 《システムの詳細設定》をクリックします。
- ④ 《システムのプロパティ》画面の《詳細設定》タブで、《パフォーマンス》枠の《設定...》をクリックします。
- ⑤ 《パフォーマンスオプション》画面の《視覚効果》タブで、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

[Windows 7 の場合]

a) 《Aero》(エアロ)を《OFF》に設定

- ① デスクトップを右クリックし、《個人設定》を選択します。
- ② テーマを《ベーシックテーマとハイコントラストテーマ》の中から選択します。

b) パフォーマンス設定

- ① 《コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
- ② 《システムの詳細設定》をクリックします。
- ③ 《システムのプロパティ》画面の《詳細設定》タブで、《パフォーマンス》枠の《設定...》をクリックします。
- ④ 《パフォーマンスオプション》画面の《視覚効果》タブで、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

[Mac OS X の場合]

- ① アップルメニューより《システム環境設定...》画面を開き、《省エネルギー》を選択します。
- ② 《コンピュータのスリープ》を《しない》に設定します。
- ③ 《ディスプレイのスリープ》を《しない》に設定します。

メモ

Mac OS Xのバージョン、またはMacコンピューターによっては、この設定がない場合があります。

4. USBポートの差し替え

USBポートによっては本機が正常に動作しない場合がありますので、パソコン本体の別のUSBポートに接続してください。

メモ

- その他のUSB機器は、接続せずにお試しください(USBキーボード・USBマウスは、接続しても構いません)。
- USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の(オンボードの)USBポートに接続してください。

第11章 仕様

仕様

定格

サンプリング周波数

44.1/48/88.2/96kHz

量子化ビット数

16/24ビット

アナログオーディオ入力定格

マイク入力 (バランス) IN1-8

コネクタ	: XLR-3-31相当 (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)
入力インピーダンス	: 2.4kΩ
規定入力レベル	: -68dBu (0.0003Vrms) (ゲインつまみMAX時)
規定入力レベル	: -12dBu (0.195Vrms) (ゲインつまみMIN時)
最大入力レベル	: +8dBu (1.947Vrms)
ゲイン幅	: 56dB

インストゥルメント入力 (アンバランス) IN9-10

(LINE / INSTスイッチを「INST」に設定時)

コネクタ	: 6.3mm (1/4") TS標準ジャック (Tip: HOT、Sleeve : GND)
入力インピーダンス	: 1MΩ以上
規定入力レベル	: -57dBV (0.0014Vrms) (ゲインつまみMAX時)
規定入力レベル	: -12dBV (0.251Vrms) (ゲインつまみMIN時)
最大入力レベル	: +8dBV (2.512Vrms)
ゲイン幅	: 45dB

ライン入力 (バランス) IN9-10

(LINE / INSTスイッチを「LINE」に設定時)

コネクタ	: 6.3mm (1/4") TRS標準ジャック (Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)
入力インピーダンス	: 10kΩ
規定入力レベル	: -41dBu (0.0069Vrms) (ゲインつまみMAX時)
規定入力レベル	: +4dBu (1.228Vrms) (ゲインつまみMIN時)
最大入力レベル	: +24dBu (12.282Vrms)
ゲイン幅	: 45dB

ライン入力 (アンバランス) LINE IN11-16

(LEVELスイッチを「-10dBV」に設定時)

コネクタ	: 6.3mm (1/4") TS標準ジャック (Tip : HOT、Sleeve : GND)
入力インピーダンス	: 10kΩ
規定入力レベル	: -10dBV (0.3162Vrms)
最大入力レベル	: +10dBV (3.162Vrms)

ライン入力 (バランス) LINE IN11-16

(LEVELスイッチを「+4dBu」に設定時)

コネクタ	: 6.3mm (1/4") TRS標準ジャック (Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)
入力インピーダンス	: 10kΩ
規定入力レベル	: +4dBu (1.228Vrms)
最大入力レベル	: +24dBu (12.282Vrms)

アナログオーディオ出力定格

ライン出力 (バランス) LINE OUT1-8

コネクタ	: 6.3mm (1/4") TRS標準ジャック (Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)
出力インピーダンス	: 100Ω
規定出力レベル	: +4dBu (1.228Vrms)
最大出力レベル	: +24dBu (12.277Vrms)

ヘッドホン出力 PHONES

コネクタ	: 6.3mm (1/4") ステレオ標準ジャック
最大出力	: 70mW + 70mW (THD+N 0.1%以下、32Ω負荷時)

周波数特性

入力→PHONES 出力

44.1kHz、48kHz時	
20Hz - 20kHz	: ±1.0dB(JEITA) Hi-Res対応
88.2kHz、96kHz時	
20Hz - 40kHz	: ±2.0dB(JEITA) Hi-Res対応

コントロール入出力定格

MIDI IN端子

コネクタ	: Din 5ピン
フォーマット	: 標準MIDIフォーマット

MIDI OUT端子

コネクタ	: Din 5ピン
フォーマット	: 標準MIDIフォーマット

USB

コネクタ	: USB Bタイプ 4ピン
転送速度	: USB 2.0 High Speed (480Mbps)

オーディオ特性

マイクアンプEIN (入力換算雑音)

-125dBu以下

周波数特性

入力→LINE OUT(BALANCED)

44.1kHz、48kHz時
20Hz - 20kHz : ±0.5dB(JEITA)
88.2kHz、96kHz時
20Hz - 40kHz : ±0.5dB(JEITA)

S/N比

100dB以上
(マイク/LINE IN→LINE OUT、ゲインつまみMIN時、JEITA)

歪率

0.006%以下
(マイク/LINE IN→LINE OUT、1kHzサイン波、規定大入力レベル、最大出力レベル)

クロストーク

100dB以上
(マイク/LINE IN→LINE OUT、1kHz)

動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト(<http://tascam.jp/>)をご確認ください。

Windows

対応OS

Windows 8 (8.1を含む)32ビット
Windows 8 (8.1を含む)64ビット
Windows 7 32ビット SP1以上
Windows 7 64ビット SP1以上

対応パソコン

USB2.0またはUSB3.0ポートを装備した Windows 対応パソコン

CPU /クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz 以上 (x86)

メモリー

2GB以上

画面解像度：

1280 x 800ドット以上

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

Mac OS X

対応OS

OS X Yosemite(10.10以降)
OS X Mavericks(10.9.1以降)
OS X Mountain Lion(10.8.4以降)

対応パソコン

USB2.0またはUSB3.0ポートを装備したApple Macシリーズ

CPU /クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上

メモリー

2GB以上

画面解像度：

1280 x 800ドット以上

iOSデバイス

iOS7以降のApple社製iOSデバイス

対応オーディオドライバー

Windows : ASIO2.0、WDM(MME)、MIDI
Mac : Core Audio、Core MIDI

一般

電源

専用ACアダプター (GPE248-120200-Z)、DC12V

消費電力

12W

外形寸法

標準フレーム装着時
445 x 59 x 219mm (幅 x 高さ x 奥行き)
ラックマウントアダプター装着時
482.6 x 44 x 218.4mm (幅 x 高さ x 奥行き)

質量

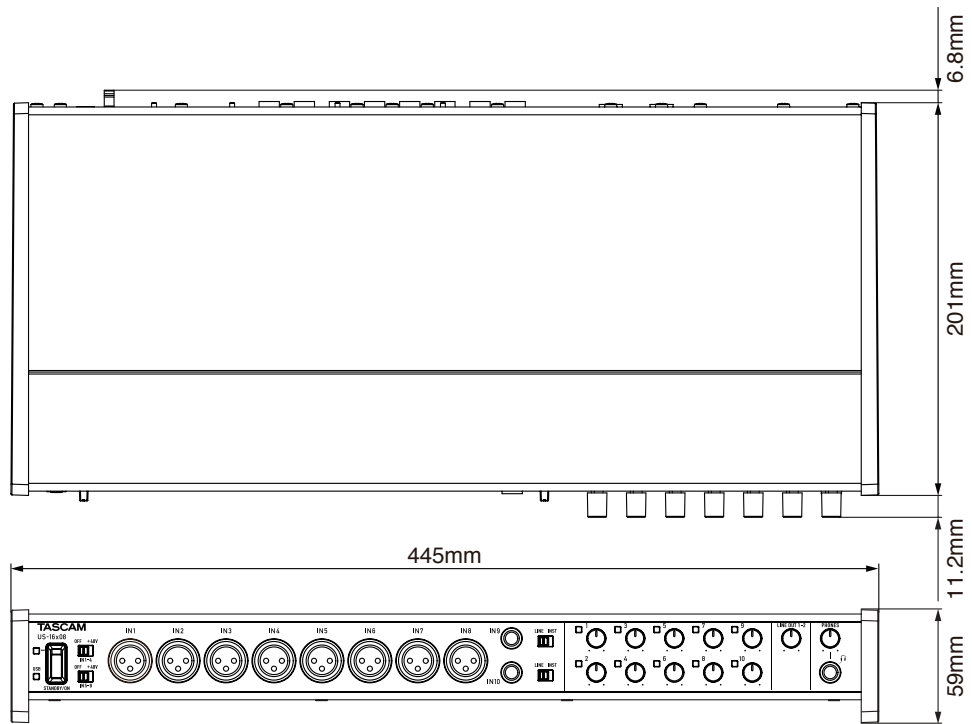
2.8kg

動作温度

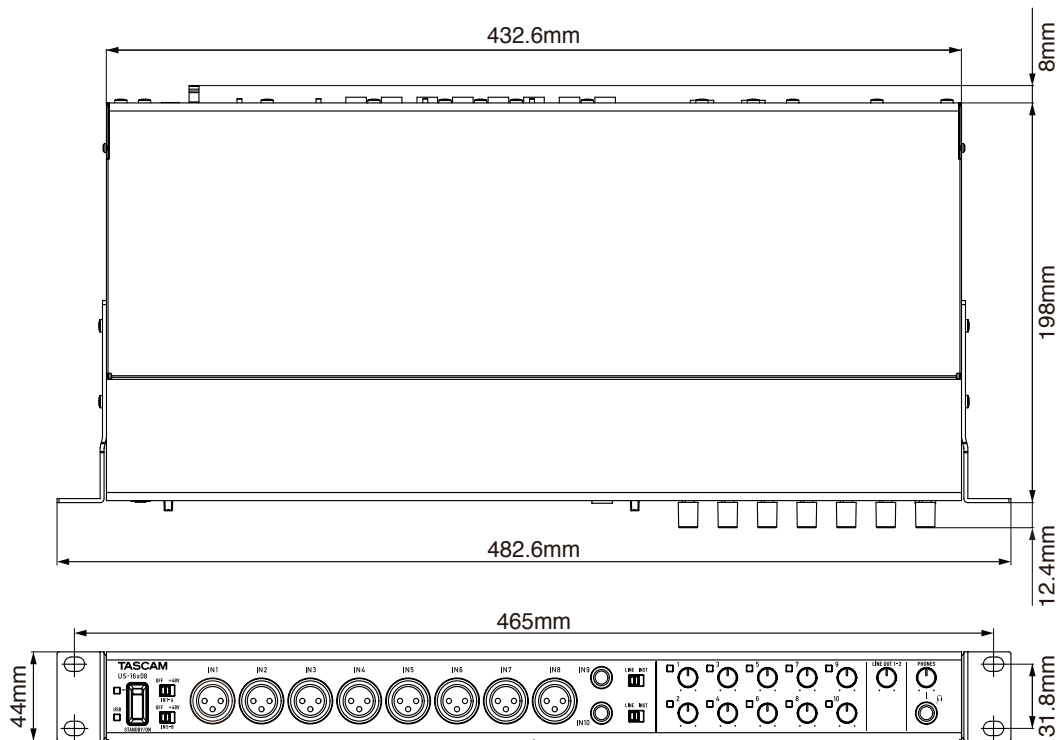
5 ~ 35°C

寸法図

標準フレーム装着時（工場出荷時の状態）

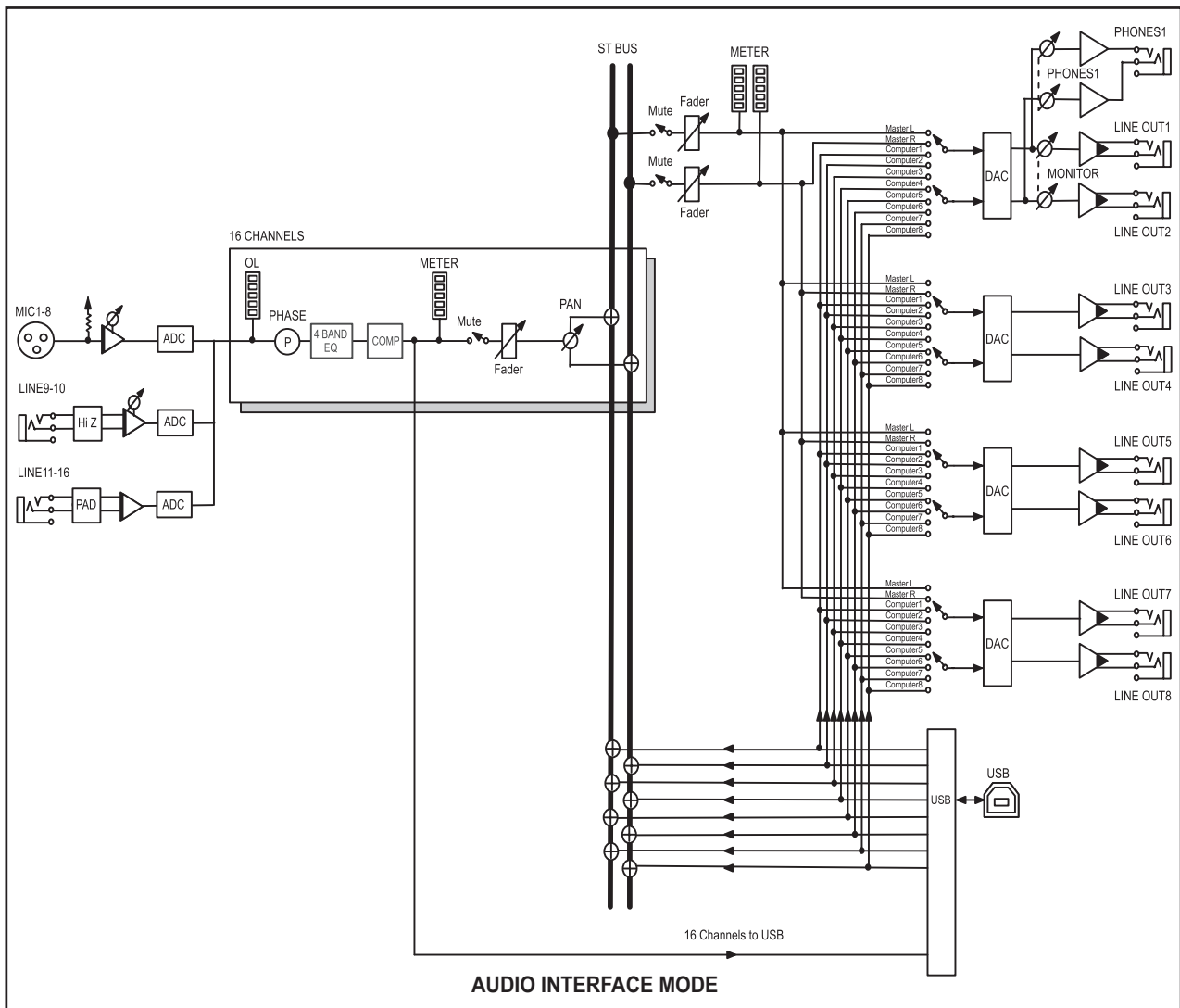
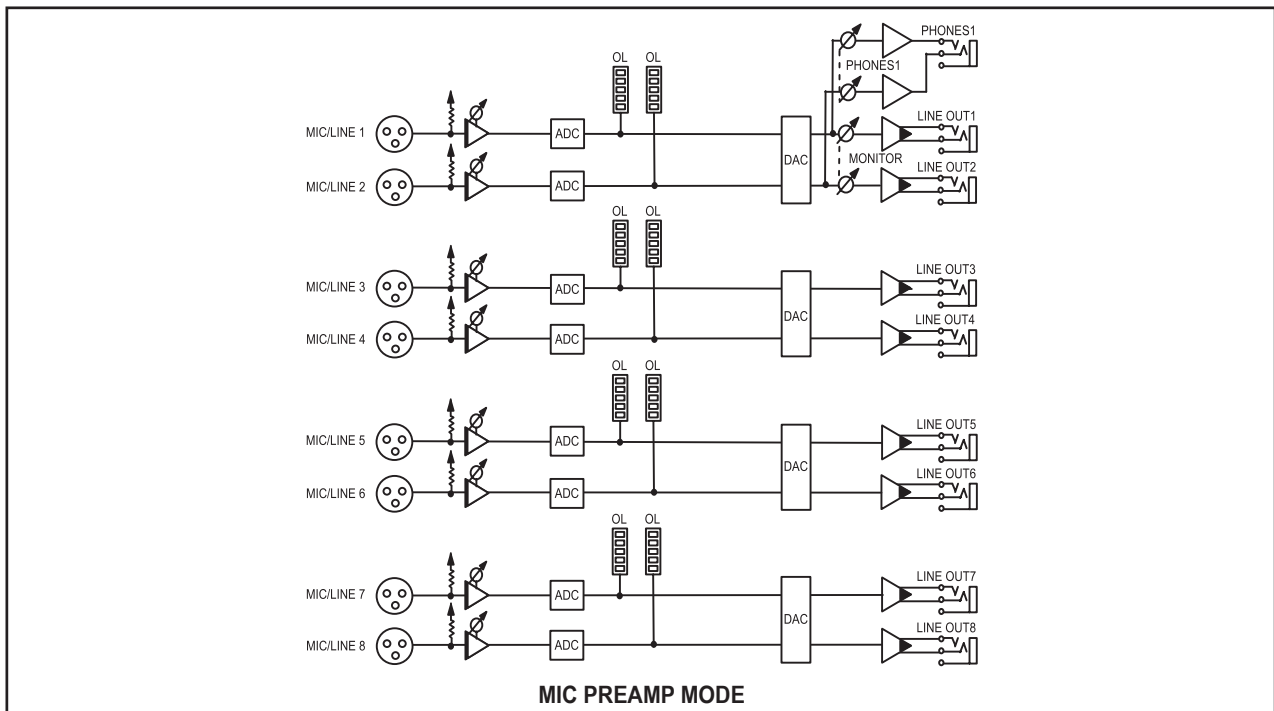


ラックマウントアダプター装着時

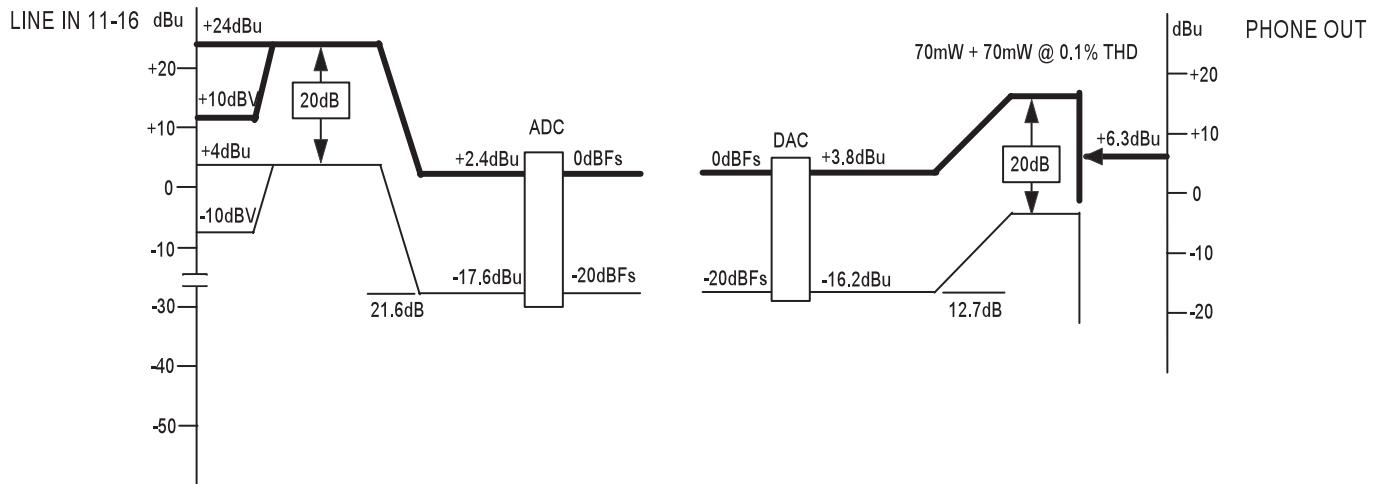
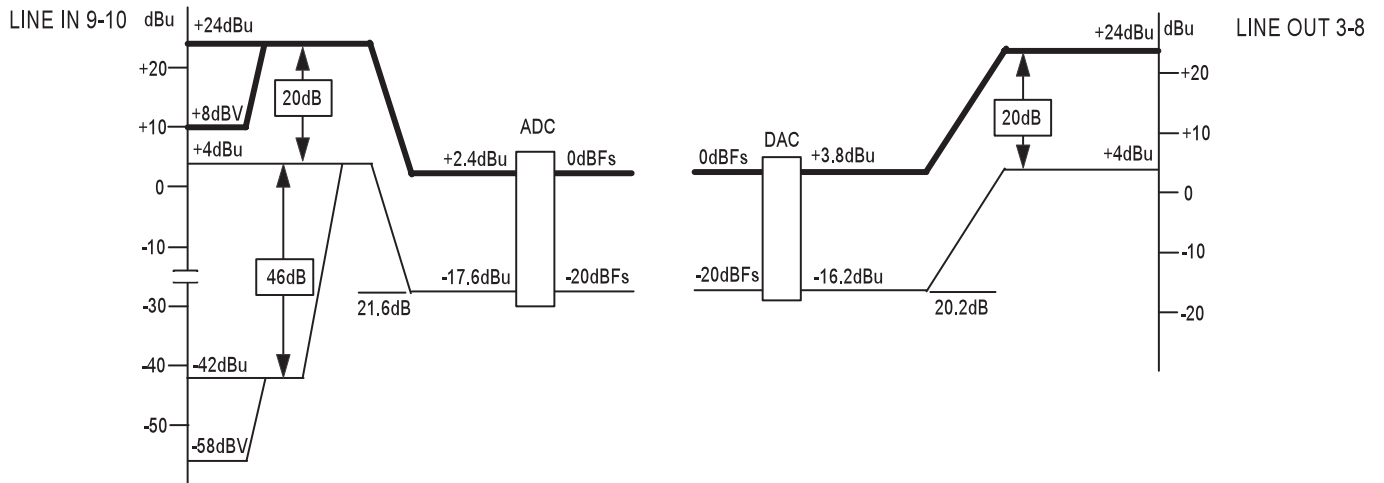
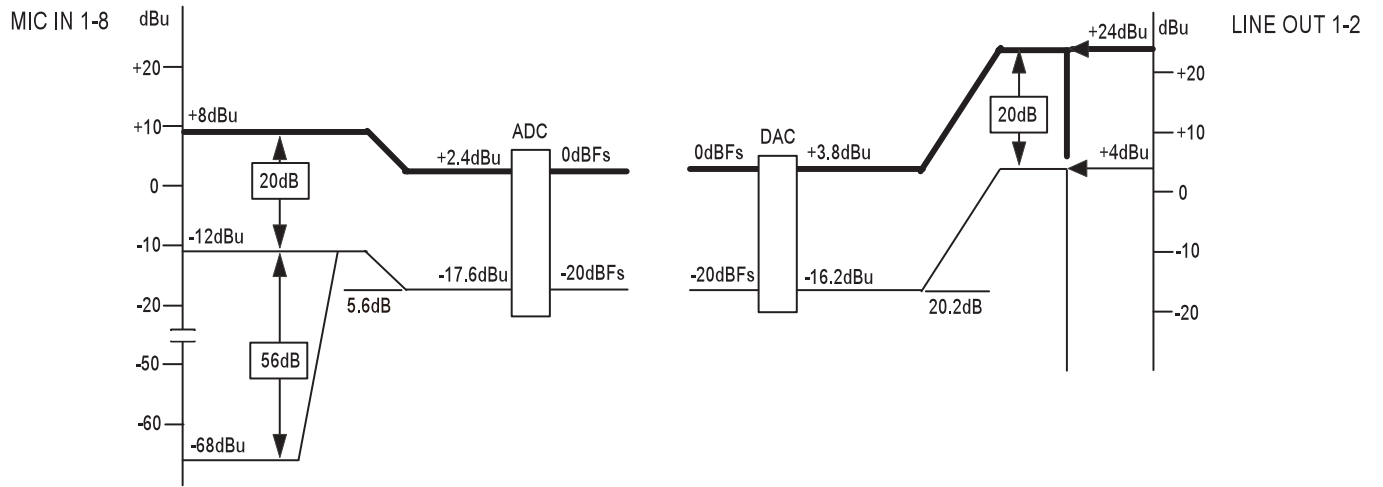


- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により外観が予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム



レベルダイアグラム



LEVEL DIAGRAM

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://tascam.jp/>